

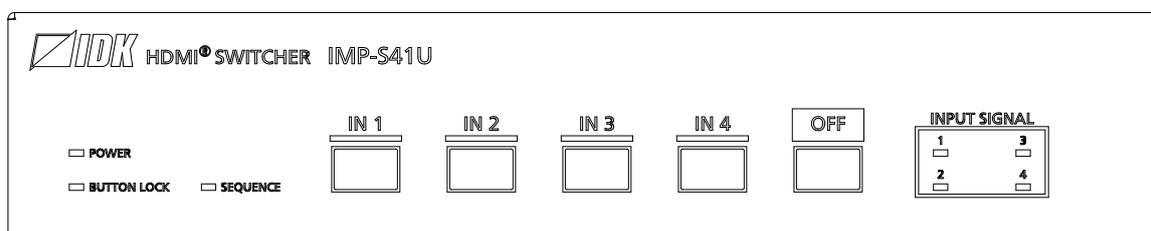
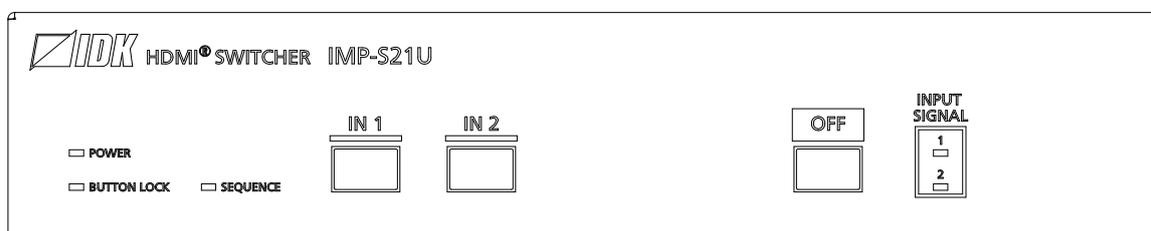
HDMI 切換器

IMP-S シリーズ

IMP-S21U / IMP-S41U

<ユーザーズガイド>

取扱説明書 Ver.2.2.0



- この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- 本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

商標について

- Blu-ray Disc (ブルーレイディスク) 、Blu-ray (ブルーレイ) は Blu-ray Disc Association の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Javascript[®]は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- アンチストームおよびコネクションリセットは、株式会社アイ・ディ・ケイの登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
なお、本文中において、[®]マークや[™]マークを省略している場合があります。

この取扱説明書をお読みいただく前に

- この取扱説明書の無断転載を禁じます。
- お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、この取扱説明書に記載される外観図やメニュー項目などが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。
- 取扱説明書は改善のため、事前の予告なく変更することがあります。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

www.idk.co.jp

取扱説明書の分冊構成

取扱説明書は、目的に応じて分冊で提供しています。
なお、コマンドガイドはホームページからの提供となります。

■ ユーザーズガイド (本書)

[目的]

- ・ 簡単な操作方法を知る。
- ・ 設置し、他の機器と接続する。
- ・ 入出力調整や設定などをする。

■ コマンドガイド

[目的]

- ・ RS-232C 通信および LAN 通信などによる外部制御をする。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

安全上のご注意

本書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- ・ この「安全上のご注意」は、弊社製品全般についての内容です。そのため、お客様がお持ちの製品には該当しない内容が含まれる場合があります。
- ・ 内容によっては、取扱説明書内で詳細に説明しているものもあります。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号	図記号の意味	記号例
 注意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。図の中や近くに絵や文章で具体的な注意内容を示します。	 高温面注意
 禁止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中や近くに絵や文章で具体的な禁止内容を示します。	 分解禁止
 指示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに絵や文章で具体的な指示内容を示します。	 プラグを抜く

警告

重い製品を持ち上げるときは



指示

●持ち上げるときは2人以上で作業する

製品を持ち上げるとき、膝を伸ばしたまま腰を曲げて持ち上げる動作は、腰への負担が非常に強く危険です。片足を少し前に出して膝を曲げ、腰を十分に下ろしてから、身体を製品に近づけて身体全体で持ち上げるようにしてください。

1人での持ち上げは負傷を招く原因になります。

設置・接続するときは



禁止

●不安定な場所に置かない

水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。

●振動のある場所に設置するときは固定する

振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。



警告

 <p>指示</p>	<p>●据付工事は技術・技能を有する専門業者が行う 技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは、必ず工事専門業者または弊社営業部までお問い合わせください。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。</p> <p>●電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する 万一の異常・故障のときや、長時間使用しないときなどに役立ちます。</p> <p>●電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込み方が悪いと、発熱により火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。</p> <p>●機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜く 機器をケーブルで接続するときは、長距離伝送接続なども含めて、関係するすべての機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、各機器の信号・制御ケーブルを接続し、各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。 本体と他の機器との接地電位差により、火災・感電または機器の破損が発生する場合があります。</p> <p>●必ずアースに接続する アース接続せずに使用すると、感電の原因になります。</p> <p>●PoE・PoH 給電を使用するときは、IEEE802.3af/at 規格に適合したツイストペアケーブルを使用する 規格に適合したケーブルで接続しないと、火災・故障の原因になります。</p>
---	--

お使いのときは

 <p>禁止</p>	<p>●異物をいれない 通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。</p> <p>●電源コード・ACアダプターは傷つけない</p> <p>●PoE・PoH 給電を使用するときは、ツイストペアケーブルを傷つけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工したり、過熱したりしない ・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・ACアダプターが傷んだら、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>●修理・改造・分解はしない 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>●雷が鳴り出したら本体と、本体へ接続されたケーブル類には触れない 感電の原因になります。</p>
 <p>指示</p>	<p>●電源プラグのほこりやゴミは拭き取る 電源プラグの絶縁低下により、火災の原因になります。</p>

もしものときは

 <p>プラグを抜く</p>	<p>●煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●落下などにより本体が破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>●内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因になります。点検・修理については、弊社営業部までお問い合わせください。</p>
---	---



注意

設置・接続するときは

 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●温度の高い場所に置かない 直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。 ●ほこり・油煙・湿気が多い場所に置かない ほこりの多い場所や、加湿器のそばに置くと、火災・感電の原因になります。 ●通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。 ●本体の上に重いものを置かない 倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。 ●コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。
 <p>ぬれ手禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。
 <p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●温度と湿度の使用・保存範囲を守る 範囲を超えて使用を続けた場合、火災・感電の原因になります。 ●海拔 2,000 m 以上の場所に設置しない 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。 ●ラックへ設置するときは、上下に空冷のための隙間を空ける EIA 相当のラックに設置してください。設置をするときは、上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。また本体を平均的に支えるため、市販の L 型サポートアングルとラック取付金具との併用をお勧めします。 ●ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入しない ゴム足を取り外した後に、ねじだけをねじ穴に挿入することは絶対にしないでください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足とねじ以外は使用しないでください。

お使いのときは

 <p>高温面注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●高温面に触れない 十分な空間を確保せず設置すると、他の機器の動作不良の原因になります。 高温面に触れるとやけどの原因になります。
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●付属の電源コード・AC アダプター以外のものは使用しない ●付属の電源コード・AC アダプターは本製品専用のため、他の製品には使用しない 不適合により、火災・感電の原因になります。
 <p>プラグを抜く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因になります。 ●お手入れのときは、電源プラグ・AC アダプターをコンセントから抜く 感電の原因になります。
 <p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●放熱を妨げない 冷却用のファンを使って内部の熱を放出しています。 ファンが停止した場合は、電源を切り、弊社営業部までお問い合わせください。 ファンが停止した状態で使用を続けると、内部の温度が上昇し、故障・火災・感電の原因になります。 ●定期的に清掃する 通風孔や冷却用のファン付近にほこりが付着すると、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。 また、長年のご使用で内部にほこりがたまると、火災・感電や故障の原因となることがありますので、定期的に内部の清掃を行うことをお勧めします。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃につきましては、弊社営業部までお問い合わせください。

目次

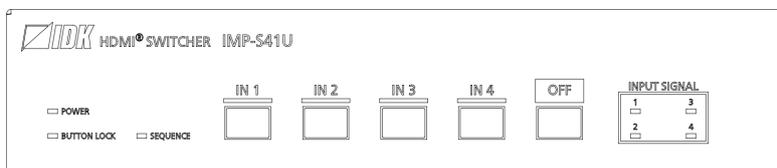
1	同梱物の確認	9
2	製品概要.....	10
3	特長.....	11
4	各部の名称とはたらき	12
4.1	フロントパネル.....	12
4.2	リアパネル.....	13
5	システム構成例.....	14
6	お使いになる前に	15
6.1	設置について	15
6.2	接続について	16
6.2.1	HDMI ケーブルについて	17
6.2.2	オーディオケーブルの接続方法.....	18
6.2.3	RS-232C ケーブルの接続方法	18
6.2.4	5V 電源出力 / 接点入力 / タリー出力について	19
6.2.5	ネジ式ロック付き AC アダプタの取り扱いについて.....	21
7	基本操作.....	22
7.1	入力チャンネル選択ボタンからの操作	23
7.1.1	入力チャンネルの選択	23
7.1.2	入力チャンネル選択ボタンのロック設定	24
7.1.3	シーケンス切換モードの設定	25
7.1.4	工場出荷時の設定に戻す.....	25
7.2	WEB メニュー画面からの操作.....	26
7.2.1	WEB メニュー画面の起動.....	27
7.2.2	WEB メニュー画面の使用方法	28
7.2.3	入力チャンネルの選択	29
7.2.4	入力チャンネル選択ボタンのロック設定	30
7.2.5	シーケンス切換モードの設定	31
7.2.6	表示される名前の変更	32
7.2.7	WEB メニュー画面の自動更新時間の設定	32
7.2.8	設定の保存 / 復元	33
7.2.9	工場出荷時の設定に戻す.....	34
7.3	4K に対応していないソース機器を接続する場合の注意	35
7.3.1	入力チャンネル選択ボタンからの操作 (EDID 変更モード).....	35
7.3.2	WEB メニュー画面からの操作	37
7.3.3	コマンドからの操作.....	37
7.4	工場出荷時設定一覧	38
8	各種設定.....	40
8.1	WEB メニュー一覽.....	40
8.2	入力チャンネル自動切換設定.....	41
8.2.1	入力チャンネル自動切換優先度.....	42
8.2.2	入力チャンネル自動切換後のマスク時間	45
8.2.3	入力チャンネル自動切換待機中の映像出力.....	45
8.2.4	シーケンス切換モード設定	46
8.2.5	シーケンス切換モード 対象チャンネル	48
8.2.6	シーケンス切換モード 切換間隔.....	48
8.2.7	シーケンス切換モード 入力検出チャンネルのみ設定	48
8.2.8	シーケンス切換モード 動作開始チャンネル.....	48

8.3	入力設定	49
8.3.1	映像信号の無入力監視	50
8.3.2	HDCP 入力の許可 / 禁止	51
8.4	出力設定	52
8.4.1	出力モード	53
8.4.2	シンク機器 EDID チェック	53
8.4.3	HDCP 再認証	54
8.5	音声設定	55
8.5.1	音声出力ミュート	55
8.6	接点入力	56
8.6.1	接点入力端子のチャタリング除去時間	57
8.7	EDID	58
8.7.1	EDID の解像度	59
8.7.2	フレームレート	63
8.7.3	Deep Color 入力	63
8.7.4	音声フォーマット	64
8.7.5	スピーカー構成	65
8.7.6	EDID データのコピー	65
8.8	RS-232C 通信設定	66
8.8.1	通信速度の設定	66
8.8.2	データビット長の設定	67
8.8.3	パリティチェックの設定	67
8.8.4	ストップビットの設定	67
8.9	LAN 通信設定	68
8.9.1	IP アドレス	68
8.9.2	サブネットマスク	68
8.9.3	MAC アドレス表示	69
8.9.4	TCP ポート番号	69
8.10	電源投入時の状態設定	70
8.10.1	電源投入時の入力チャンネル	71
8.10.2	電源投入時のボタンロック	71
8.11	その他設定	72
8.11.1	ブザー音	72
8.11.2	バージョン情報の表示	72
8.12	ステータス表示	73
8.12.1	入力信号状態表示	74
8.12.2	シンク機器状態表示	77
8.12.3	エラーメッセージ表示	78
8.12.4	シンク機器の EDID 情報表示	80
9	製品仕様	82
9.1	主な入出力映像信号仕様	83
10	正常に動作しないときは	84

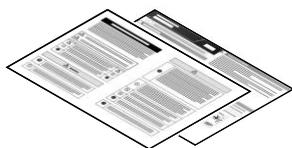
1 同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。

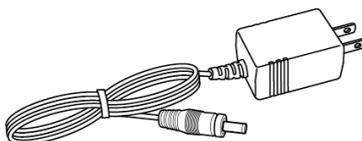
万一、同梱物に不備がありましたら、お手数ですが弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。



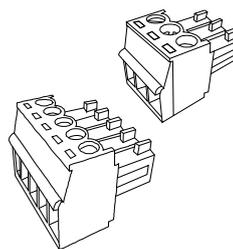
本体 × 1 (図 : IMP-S41U)



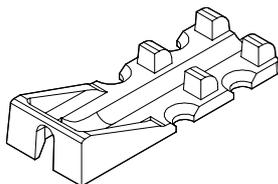
安全上のご注意 × 1
設置ガイド × 1



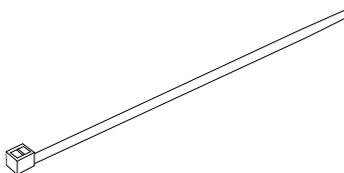
専用 AC アダプタ (1.5 m) × 1



ターミナルブロック (3 ピン)
IMP-S21U × 5 IMP-S41U × 7
ターミナルブロック (5 ピン) × 1



ケーブル固定ブラケット
IMP-S21U × 3 IMP-S41U × 5



結束バンド
IMP-S21U × 3 IMP-S41U × 5

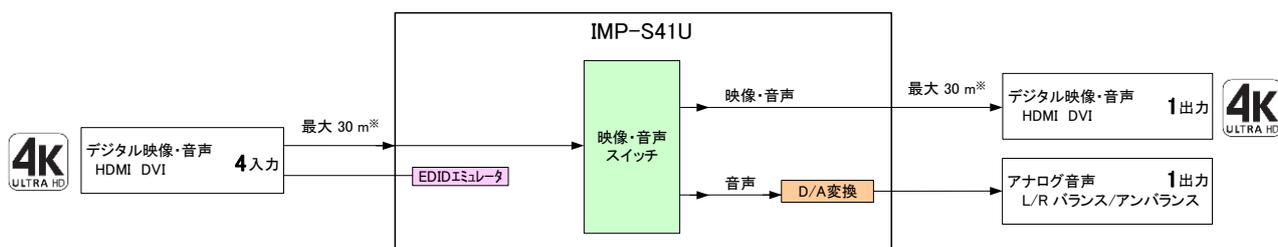
[図 1.1] 同梱物の一覧

2 製品概要

IMP-S シリーズ (以下、「本機」とする) は、4K@60 の映像信号に対応した HDMI 信号の切換器です。本機は、入力に 2/4 系統の HDMI 入力コネクタ、出力に 1 系統の HDMI 出力コネクタとアナログ音声出力用の音声出力コネクタを搭載しています。入力されたデジタル音声信号はアナログ音声信号に変換され、音声出力コネクタから出力されます。

また、HDMI 信号は HDCP 2.2 に対応しています。

制御用通信ポートとして、RS-232C と LAN を装備しており、各種設定を遠隔操作することができます。外部制御インターフェースとして接点入力 / タリール出力を装備しており、パソコンの I/O ボードからの制御や、自作のスイッチボックスからの遠隔操作が容易に行えます。



※最大距離
 30 m: 1080p@60
 12 m: 4K@60 (18 Gbps高速伝送対応ケーブル使用時)

[図 2.1] IMP-S41U のブロック図

3 特長

■ 映像

- ・ 最大解像度 4K@60 (4:4:4)
- ・ HDCP 1.4 / 2.2 対応
- ・ HDR 対応
- ・ 3D 対応
- ・ x.v.Color 対応
- ・ ケーブル最大距離
 - 30 m : 1080p@60
 - 12 m : 4K@60 (18 Gbps 高速伝送対応ケーブル使用時)
- ・ アンチストーム機能

■ 音声

- ・ HDMI エンベデッド音声をアナログ音声に出力可能

■ 制御入力

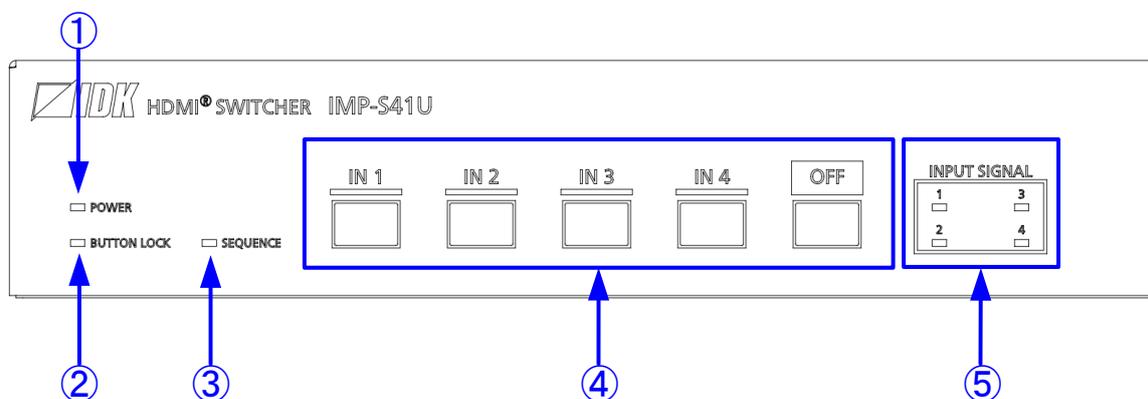
- ・ RS-232C、LAN、接点入力

■ その他

- ・ EDID エミュレート機能 (コピー機能付)
- ・ WEB ブラウザ制御
- ・ 入力チャンネル自動切換
- ・ 入力チャンネルシーケンス切換
- ・ DDC バッファ搭載
- ・ ラストメモリ機能
- ・ コネクションリセット機能
- ・ ボタンロック機能
- ・ 本体 AC アダプタ接続部はロック機構搭載

4 各部の名称とはたらき

4.1 フロントパネル

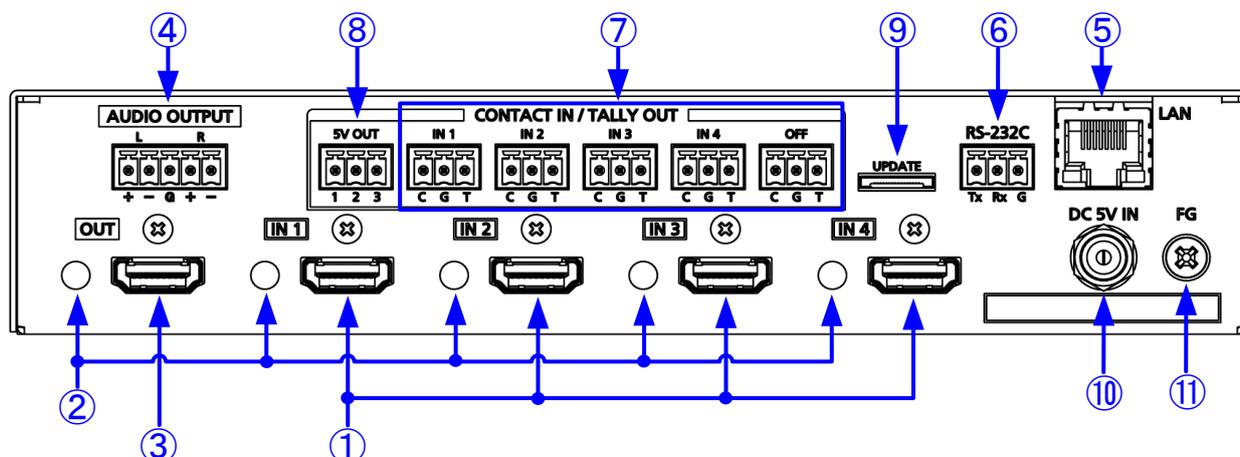


[図 4.1] フロントパネルの外観図 (図 : IMP-S41U)

[表 4.1] フロントパネルの各名称とはたらき

番号	名称	はたらき
①	POWER ランプ	本機の電源状態を確認できます。 緑点灯：電源投入あり 消灯：電源投入なし
②	BUTTON LOCK ランプ	入力チャンネル選択ボタンのロック状態を確認できます。 黄色点灯：ロック中 消灯：ロック解除 【参照：7.1.2 入力チャンネル選択ボタンのロック設定 (P.24)】
③	SEQUENCE ランプ	シーケンス切換モードの実行状態を確認できます。 黄色点灯：シーケンス切換モード実行中 消灯：シーケンス切換モード解除 【参照：7.1.3 シーケンス切換モードの設定 (P.25)】
④	入力チャンネル選択ボタン	入力チャンネルを選択します。 【参照：7.1.1 入力チャンネルの選択 (P.23)】
⑤	INPUT SIGNAL ランプ	映像信号の入力検知を確認できます。 黄色点灯：映像信号の入力あり 消灯：映像信号の入力なし

4.2 リアパネル



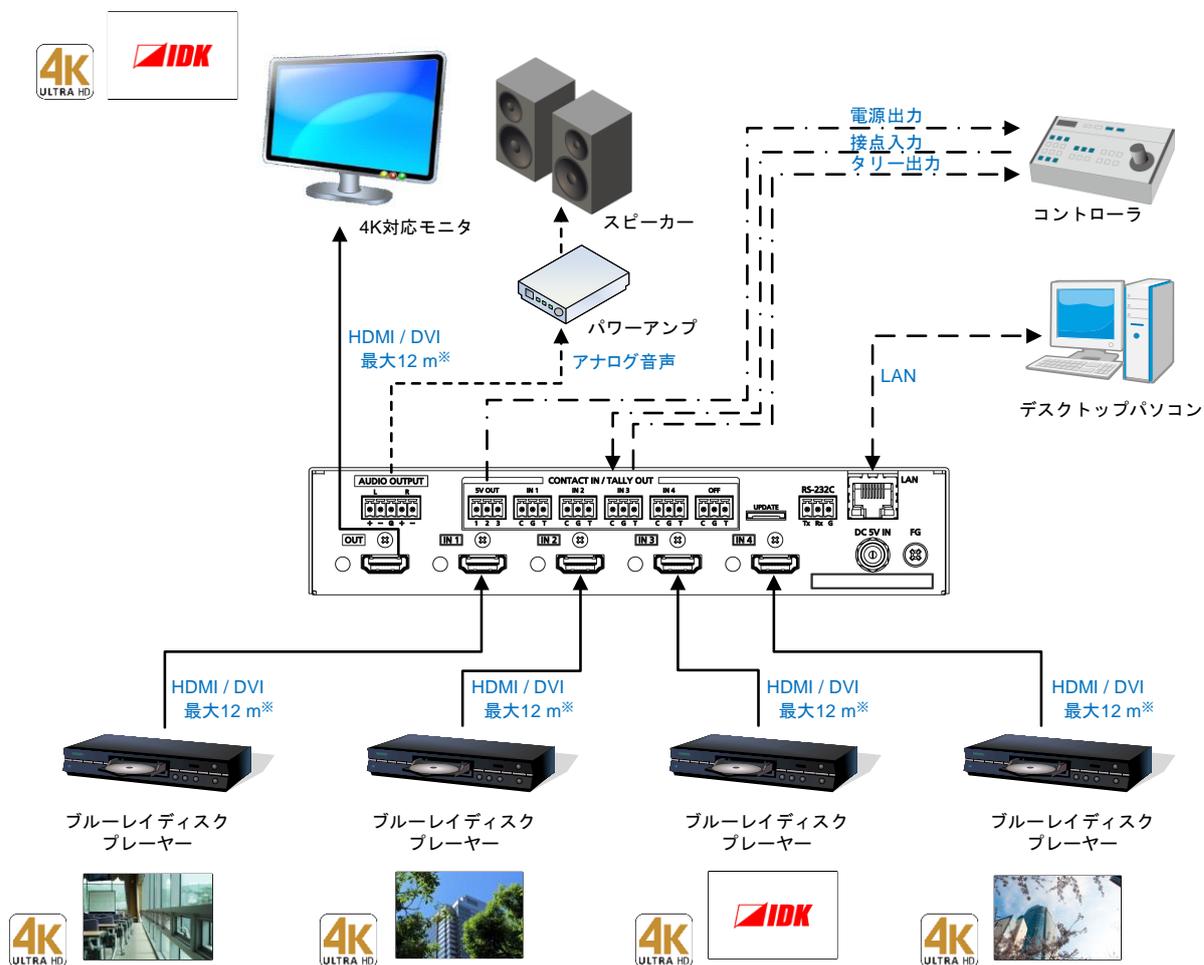
[図 4.2] リアパネルの外観図 (図 : IMP-S41U)

[表 4.2] リアパネルの各名称とはたらき

番号	名称	はたらき
①	HDMI 入力コネクタ	HDMI 信号と DVI 信号の入力コネクタです。 ブルーレイディスクプレーヤーなどのソース機器と接続します。
②	HDMI ケーブル固定穴 (未使用)	未使用。
③	HDMI 出力コネクタ	HDMI 信号と DVI 信号の出力コネクタです。 液晶モニタ、プロジェクターなどのシンク機器と接続します。
④	音声出力コネクタ	アナログ音声信号の出力コネクタです。 HDMI 入力コネクタから入力されたデジタル音声信号を、アナログ音声信号に変換して出力します。 アンプ、スピーカーおよびミキサーなどと接続します。 【参照 : 6.2.2 オーディオケーブルの接続方法 (P.18)】
⑤	LAN コネクタ	LAN 通信コネクタです。 通信コマンドまたは WEB ブラウザによる外部制御で使用します。
⑥	RS-232C コネクタ	RS-232C シリアル通信コネクタです。 通信コマンドによる外部制御で使用します。 【参照 : 6.2.3 RS-232C ケーブルの接続方法 (P.18)】
⑦	接点入力 / タリー出力 コネクタ	入力チャンネルごとの接点入力 / タリー出力コネクタです。 スイッチボックスなどによる遠隔制御をする場合に使用します。 【参照 : 6.2.4 5V 電源出力 / 接点入力 / タリー出力 (P.19)】
⑧	5V 電源出力コネクタ	外付けのタリーLED などの操作に使用できる 5V 電源を出力します。 【参照 : 6.2.4 5V 電源出力 / 接点入力 / タリー出力 (P.19)】
⑨	保守用コネクタ	未使用。 このコネクタには何も接続しないでください。
⑩	電源コネクタ	付属の AC アダプタを接続します。 【参照 : 6.2.5 ネジ式ロック付き AC アダプタの取り扱いについて (P.21)】
⑪	フレームグランド	M4 ねじを使用しています。 屋内のアース端子と接続します。

5 システム構成例

次の図は、本機にソース機器とシンク機器を接続したときのシステム構成例です。



※最大距離
 30 m : 1080p@60
 12 m : 4K@60 (18 Gbps高速伝送対応ケーブル使用時)

[図 5.1] IMP-S41U のシステム構成例

6 お使いになる前に

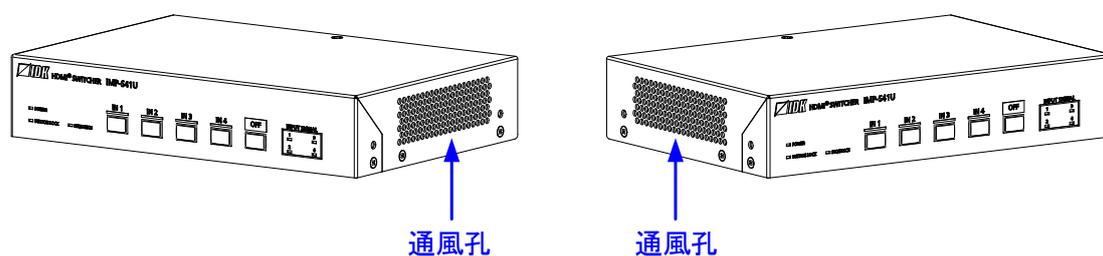
本機をお使いになる前に、以下の事項をお守りください。

6.1 設置について

本機を設置するときは、次の事項をお守りください。

本体内部の温度が上昇し、部品の寿命や本機の動作などに影響を及ぼすおそれがあります。

- ・本機を積み重ねて使用しないでください。
- ・通風孔をふさがないでください。



[図 6.1] 通風孔 (図 : IMP-S41U)

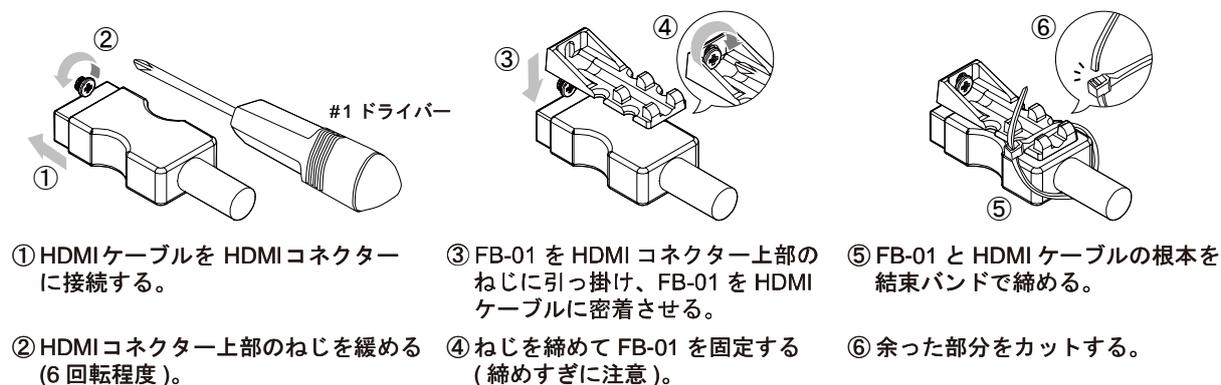
- ・周囲 30 mm 以上の空間を確保してください。
- ・製品仕様書に記載された使用温度範囲内でご使用ください。

【参考】 EIA ラックへ設置する場合は、オプションとしてラック取付金具を用意していますので、弊社の本社営業部または各営業所までお問い合わせください。

6.2 接続について

本機を外部機器と接続するときは、次の事項をお守りください。

- ・ 外部機器の取扱説明書をよくお読みください。
- ・ ケーブルを本機、または外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に接地された周辺の金属に触れて、身体の帯電を除去した状態で作業をしてください。
- ・ 各機器の電源を切った状態で接続をしてください。
- ・ ケーブルはコネクタにしっかりと差し込み、接続してください。また、コネクタにストレスを与えない配線をしてください。
- ・ HDMI ケーブルの抜け落ち防止のため、HDMI ケーブルをケーブル固定ブラケットと結束バンドで以下のように固定してください。



[図 6.2] ケーブル固定ブラケット (FB-01 弊社製品専用)

6.2.1 HDMI ケーブルについて

映像が 4K フォーマットの場合、TMDS データレート (伝送速度) は最大 18 Gbps となります。ハイスピード HDMI ケーブルをお使いの場合、TMDS データレートは最大 10.2 Gbps となり、安定した映像を表示させることができません。

使用されるケーブルは、4K フォーマットに応じて、18 Gbps 高速伝送対応ケーブルを選定してください。また、ケーブルの種類、ソース機器やモニタなどの特性において、最大距離は変わります。そのため、特性の優れたケーブルをご使用いただくことをお勧めします。

[表 6.1] 4K フォーマットで必要となる 18 Gbps 高速伝送対応ケーブル

4K フォーマット	TMDS データレート (Gbps)								
	RGB, YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2			YCbCr 4:2:0		
	24 bit	30 bit	36 bit	24 bit	30 bit	36 bit	24 bit	30 bit	36 bit
3840x2160p (24 / 25 / 30)	△	◎	◎	△	△	△	—	—	—
4096x2160 (24 / 25 / 30)	△	◎	◎	△	△	△	—	—	—
3840x2160p (50 / 59.94 / 60)	◎	—	—	◎	◎	◎	△	◎	◎
4096x2160 (50 / 59.94 / 60)	◎	—	—	◎	◎	◎	△	◎	◎

【記号】 ◎ : 18 Gbps 高速伝送対応ケーブル、△ : 10.2 Gbps 伝送ケーブル、— : 規格無し

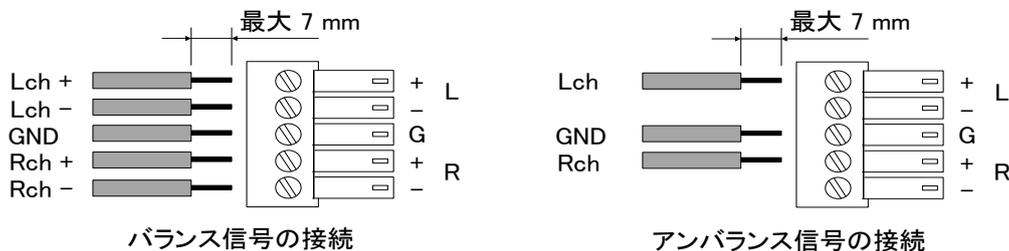
【注意】 ケーブルジョイント (JJ) などを使用し、ケーブルを延長した場合は、映像の乱れや出力がされないときがあります。

【参考】 弊社では、やわらか HDMI ケーブル、18 Gbps 高速伝送ケーブルや各種変換ケーブルなど豊富に取り揃えております。詳しくは弊社ホームページの【ケーブル・アダプタ】を参照してください。また、システムの構成に合わせて、必要となる HDMI ケーブル、HDMI-DVI 変換ケーブルをお使いください。

6.2.2 オーディオケーブルの接続方法

付属のターミナルブロック (5 ピン) にケーブルを固定し、音声出力コネクタに接続してください。本機は、バランス信号とアンバランス信号に対応しています。

なお、ケーブルは AWG 28 ~ AWG 16 を推奨します。剥き線長さは最大 7 mm です。



【図 6.3】ターミナルブロック (5 ピン) へのオーディオケーブルの接続方法

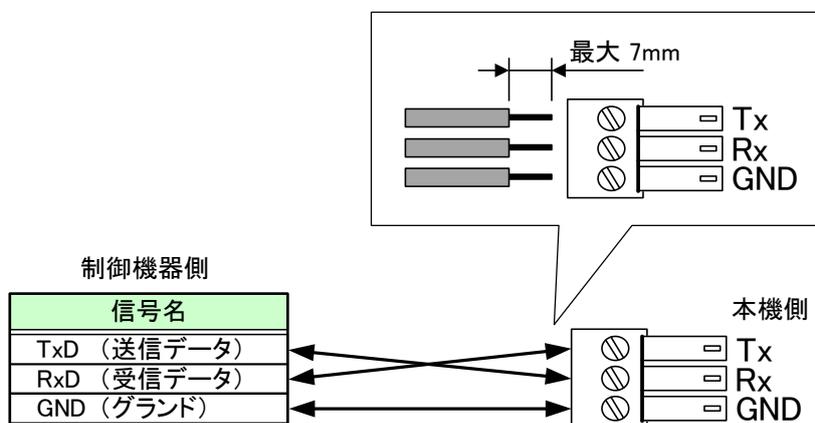
【注意】 バランス信号接続の出力レベルは、アンバランス信号接続のときの 2 倍となります。
デジタルオーディオの入力レベルが 0 dBFS のとき、アナログオーディオのアンバランス信号の出力レベルは 10 dBu、バランス信号の出力レベルは 16 dBu になります。

6.2.3 RS-232C ケーブルの接続方法

付属のターミナルブロック (3 ピン) にケーブルを固定し、RS-232C コネクタに接続してください。

なお、ケーブルは AWG 28 ~ AWG 16 を推奨します。剥き線長さは最大 7 mm です。

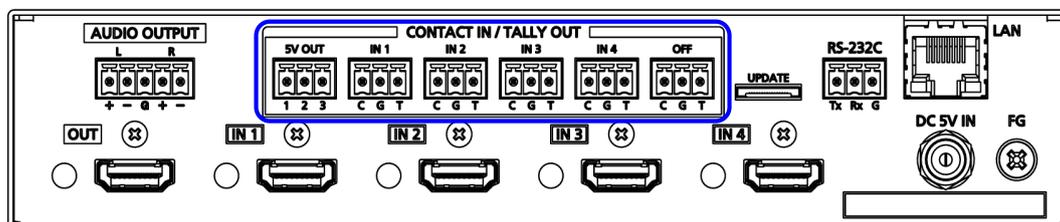
必要に応じて RTS と CTS、DTR と DSR をショートしてください。



【図 6.4】ターミナルブロック (3 ピン) への RS-232C ケーブルの接続方法

6.2.4 5 V 電源出力 / 接点入力 / タリー出力について

本機は外部制御インターフェースとして接点入力 / タリー出力コネクタを装備しています。パソコンの I/O ボードからの制御や、スイッチボックスからの遠隔操作が容易に行えます。
タリーLED の電源に使用できる 5 V 電源出力コネクタも用意しています。



[図 6.5] 5 V 電源出力 / 接点入力 / タリー出力コネクタ (図 : IMP-S41U)

■ ピン配列

5 V 電源出力コネクタ、接点入力 / タリー出力コネクタのピン配列を次の表に示します。

[表 6.2] IMP-S41U の 5 V 電源出力コネクタ、接点入力 / タリー出力コネクタのピン配列

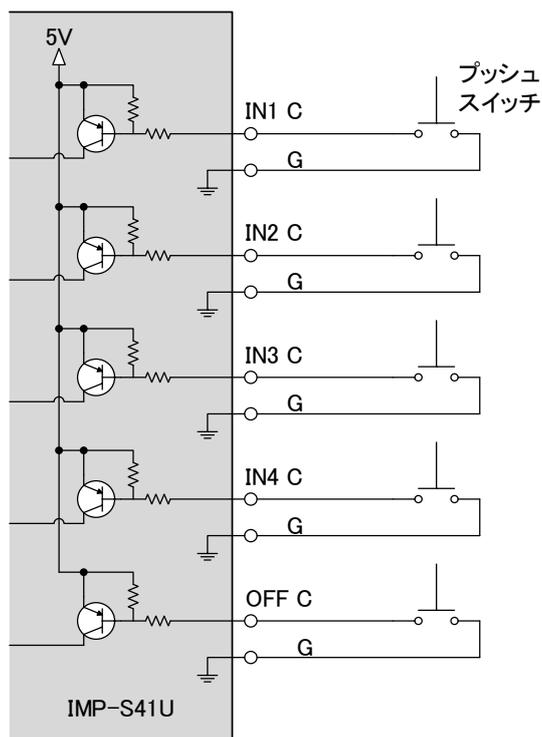
コネクタ	ピン番号	端子名	機能
5V OUT	1	LED300	DC 5 V 出力 (300 Ω の電流制限抵抗付き)
	2	LED75	DC 5 V 出力 (75 Ω の電流制限抵抗付き)
	3	VCC 5 V	DC 5 V 出力 (定格 500 mA)
IN 1	C	接点入力	GND (0 V) 入力 で IN1 を選択
	G	GND	—
	T	タリー出力	IN1 選択中にショートを出力
IN 2	C	接点入力	GND (0 V) 入力 で IN2 を選択
	G	GND	—
	T	タリー出力	IN2 選択中にショートを出力
IN 3	C	接点入力	GND (0 V) 入力 で IN3 を選択
	G	GND	—
	T	タリー出力	IN3 選択中にショートを出力
IN 4	C	接点入力	GND (0 V) 入力 で IN4 を選択
	G	GND	—
	T	タリー出力	IN4 選択中にショートを出力
OFF	C	接点入力	GND (0 V) 入力 で OFF を選択
	G	GND	—
	T	タリー出力	OFF 選択中にショートを出力

■ 接点入力の制御方法

本機は、接点入力を使って、入力チャンネルの切換を遠隔制御できます。

入力チャンネルを切り換えるときは、対象となる入力チャンネルの接点入力端子を GND に接地します。GND への接地後はオープンに戻してください。制御にスイッチキーなどを使用する場合は、押したら ON、離したら OFF になるようなスイッチを使用してください。

スイッチのチャタリングにより本機の動作が不安定になる場合は、**8.6.1 接点入力端子のチャタリング除去時間 (P.57)** でチャタリングの除去時間を長く設定してください。

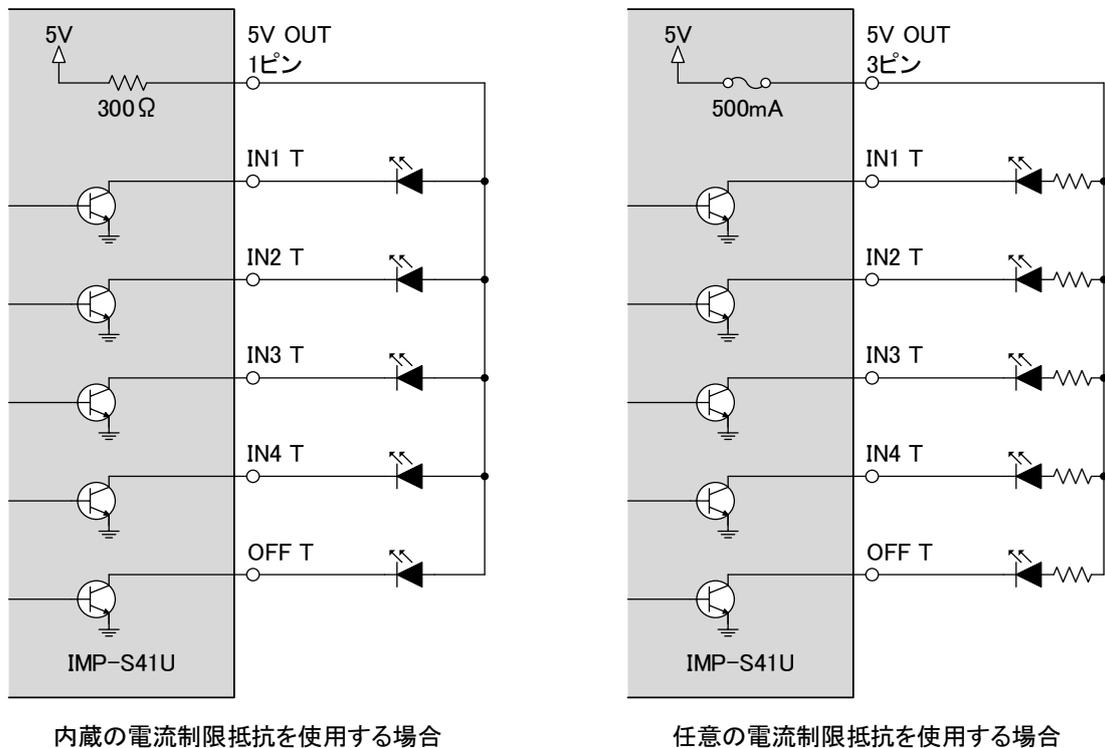


[図 6.6] IMP-S41U の接点入力の回路例

-
- 【注意】
- ・ 未使用の接点入力端子はオープンにしてください。
 - ・ 接点入力の有電圧制御をする場合は、DC 0 V ~ 5 V ± 5 % の範囲にしてください。
 - ・ 接点入力への制御信号は、パルスを入力してください。
-

■ タリー出力の制御方法

現在選択されている入力チャンネルを示すために LED を点灯させる場合は、下図のように接続してください。選択されている入力チャンネルのタリー出力が GND となり LED が点灯します。



内蔵の電流制限抵抗を使用する場合

任意の電流制限抵抗を使用する場合

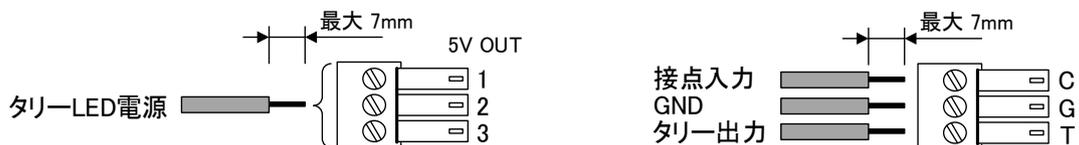
[図 6.7] IMP-S41U のタリー出力の回路例

- 【注意】
- ・ 未使用のタリー出力端子はオープンにしてください。
 - ・ DC 5 V 出力と電流制限抵抗は、ご使用の LED の仕様を確認してご利用ください。
 - ・ タリー出力の最大負荷容量は、DC 48 V 1 A です。

■ ケーブルの接続方法 (5 V 電源出力コネクタ、接点入力 / タリー出力コネクタ)

付属のターミナルブロック (3 ピン) にケーブルを固定し、5 V 電源出力コネクタ、接点入力 / タリー出力コネクタに接続してください。

なお、ケーブルは AWG 28 ~ AWG 16 を推奨します。剥き線長さは最大 7 mm です。



[図 6.8] ターミナルブロック (3 ピン) への 5 V 電源出力ケーブル / 接点入力 / タリー出力ケーブルの接続方法

6.2.5 ネジ式ロック付き AC アダプタの取り扱いについて

付属の AC アダプタを電源コネクタへ接続し、DC プラグのねじを回して留めてください。

7 基本操作

本機は、入力チャンネル選択ボタン、WEB メニュー画面および通信コマンドから操作ができます。その中でも本章では、入力チャンネル選択ボタンと WEB メニュー画面を使った基本操作について説明します。

通信コマンドによる制御は、「IMP-S シリーズ取扱説明書 <コマンドガイド>」をご参照ください。

[表 7.1] 操作の対応表

操作	入力チャンネル 選択ボタン	WEB メニュー 画面	通信コマンド
入力チャンネルの選択	○	○	○
入力チャンネル選択ボタンのロック設定	○	○	○
シーケンス切換モードの設定	○	○	○
EDID の解像度変更	○*	○	○
入力チャンネル選択ボタンのブザー音の設定	×	○	○
設定の保存 / 復元	×	○	×
工場出荷時の設定に戻す	○	○	×
その他各種設定	×	○	○
参照先	7.1 節 (P.23) 7.3 節 (P.35)	7.2 節 (P.26) 7.3 節 (P.35) 8 章 (P.40)	7.3 節 (P.35) コマンドガイド

【記号】 ○：操作可能、×：操作不可

※ EDID 変更モードへ移行することにより EDID の解像度を変更することができます。

【参照：7.3.1 入力チャンネル選択ボタンからの操作 (EDID 変更モード) (P.35)】

■ 本機の起動時間

本機が起動してから、各操作を受け付けるまでに必要な時間は次の表のとおりです。

[表 7.2] 操作受付時間

操作内容	必要時間
通信コマンドの受け付け	4 秒
WEB ブラウザの操作受け付け	4 秒
接点入力の受け付け	6 秒
フロントパネルの操作受け付け	6 秒

7.1 入力チャンネル選択ボタンからの操作

7.1 節では、入力チャンネル選択ボタンから操作できる次の機能について説明します。

- ・ 入力チャンネルの選択
- ・ 入力チャンネル選択ボタンのロック設定
- ・ シーケンス切換モードの設定
- ・ 工場出荷時の設定に戻す

【参考】 入力チャンネル選択ボタンは、操作可能なボタンを押したときのみ、ブザー音が「ピッ」と鳴りません (工場出荷時)。

【参照 : 8.11.1 ブザー音 (P.72) 】

7.1.1 入力チャンネルの選択

入力チャンネル選択ボタンを押し、映像信号と音声信号を出力するチャンネルを選択します。「OFF」ボタンを選択すると、映像信号と音声信号の出力を OFF にします。



【図 7.1】 入力チャンネルの選択 (図 : IMP-S41U)

【参考】 HDCP 付きの映像信号が入力された入力チャンネルは、一度選択されて映像が出力されると、HDCP 認証の状態を維持します。そのため、入力チャンネルを切り換えたときの HDCP 再認証の動作が省かれることで、入力チャンネルを切り換えてからシンク機器に映像が表示されるまでの時間は短くなります。ただし、本機の電源を入れ直したとき、または入力側の HDMI ケーブルを抜き差ししたときは、HDCP の認証状態が切れます。

7.1.2 入力チャンネル選択ボタンのロック設定

「IN1」 ボタンを約 3 秒長押しすることにより、入力チャンネル選択ボタンのロック設定と解除ができます。

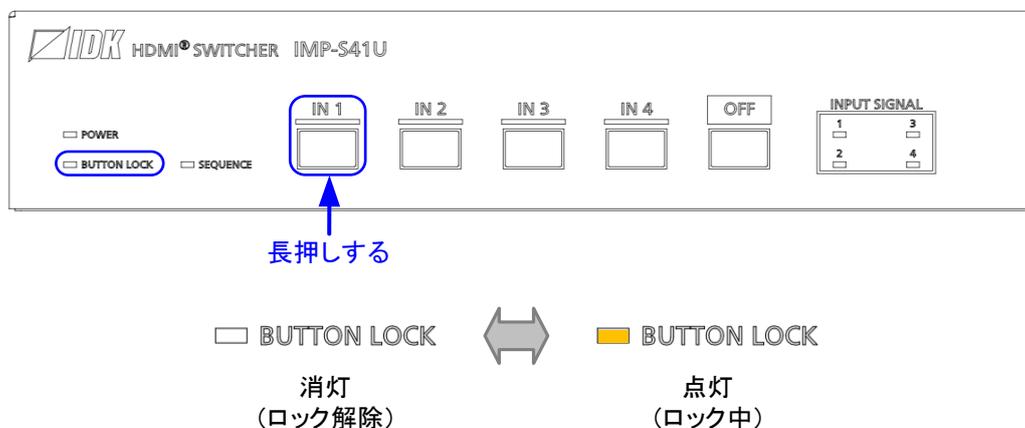
ロックを設定するには、「IN1」 ボタンを約 3 秒長押ししてください。ロックが設定されると、長音ブザーが「ピーッ」と鳴り、BUTTON LOCK ランプが黄色に点灯します。

ロック中は、入力チャンネル選択ボタンの操作はできません。ただし、「IN1」 ボタンはロックの解除で使用するため、ボタンを押すと短音ブザーが「ピッ」と鳴ります。

ロックを解除するには、再度「IN1」 ボタンを約 3 秒長押ししてください。ロックが解除されると、長音ブザーが「ピーッ」と鳴り、BUTTON LOCK ランプが消灯します。

電源投入時のボタンロックの状態については、設定により選択ができます。

【参照：8.10.2 電源投入時のボタンロック (P.71)】

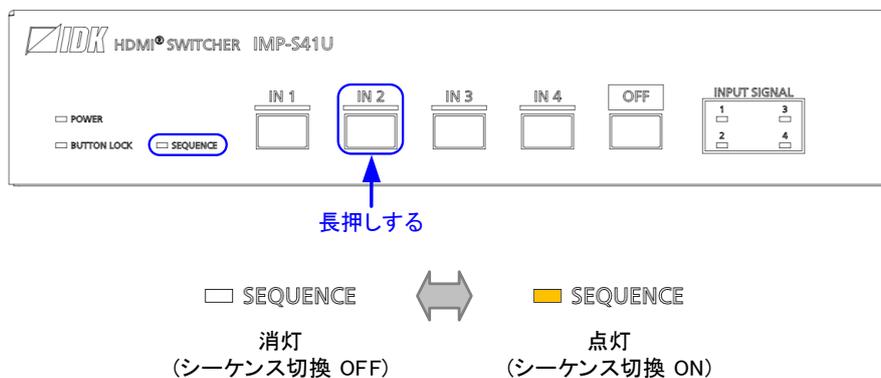


[図 7.2] 入力チャンネル選択ボタンのロック設定 (図：IMP-S41U)

7.1.3 シーケンス切換モードの設定

シーケンス切換モードを使用すると、入力チャンネルを任意の間隔で自動的に切り換えることができます。このモードへ移行するには、「IN2」ボタンを約3秒長押ししてください。シーケンス切換モードがONになり、SEQUENCEランプが黄色に点灯します。

シーケンス切換モードをOFFにするには、再度「IN2」ボタンを約3秒長押ししてください。シーケンス切換モードがOFFになり、SEQUENCEランプが消灯します。



【図 7.3】 シーケンス切換モードの設定 (図 : IMP-S41U)

【参照 : 8.2.4 シーケンス切換モード設定 (P.46)】

【参考】 シーケンス切換モードがONのとき、入力チャンネル選択ボタンでの入力チャンネル選択は無効になります。

7.1.4 工場出荷時の設定に戻す

「OFF」ボタンを押しながら電源を入れると、LANの設定を含めたすべての項目が工場出荷時の設定に戻ります。

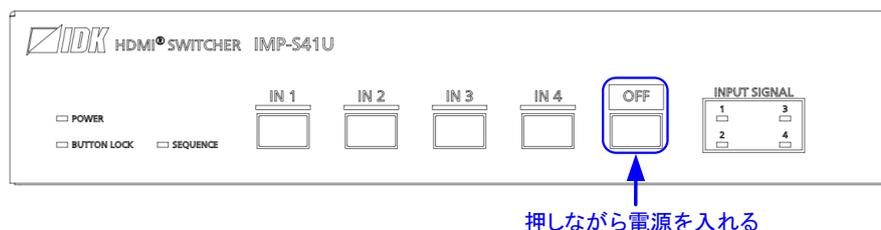
「OFF」ボタンは長音ブザーが鳴るまで押し続けてください。長音ブザーが「ピーッ」と鳴ると、初期化が終了し、通常の動作を開始します。

一度、工場出荷時の設定に戻すと、それまで使用していた設定に戻すことができませんのでご注意ください。

【参照 : 7.4 工場出荷時設定一覧 (P.38)】

工場出荷時の設定に戻す前に、必要に応じてバックアップファイルを作成し、保存してください。

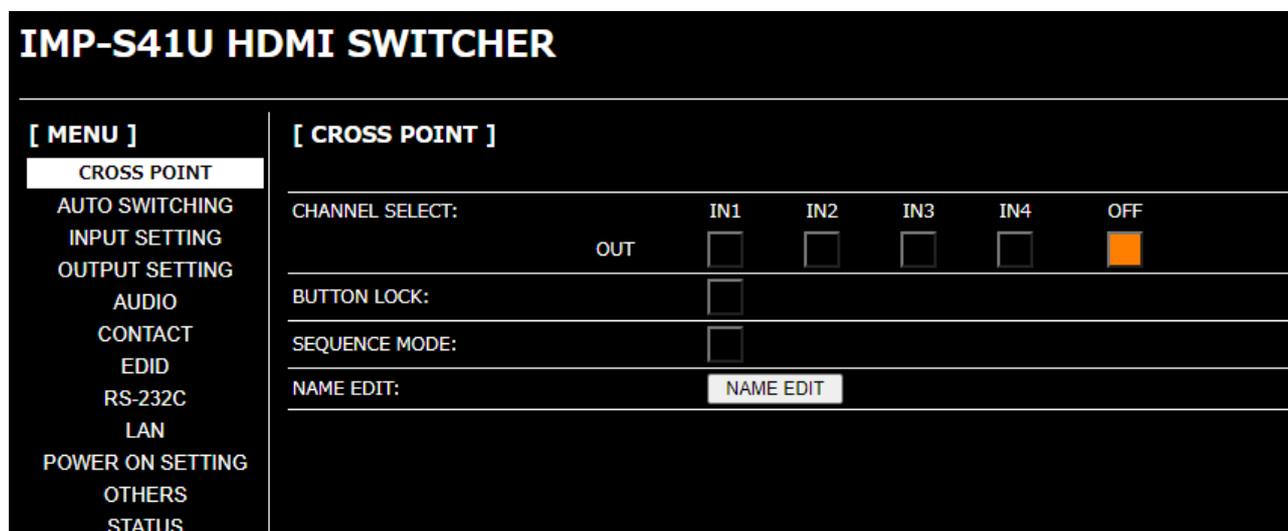
【参照 : 7.2.8 設定の保存 / 復元 (P.33)】



【図 7.4】 工場出荷時の設定に戻す (図 : IMP-S41U)

7.2 WEB メニュー画面からの操作

LAN で接続された本機を、WEB ブラウザから WEB メニュー画面を起動し、制御することができます。



[図 7.5] WEB メニュー画面 (図 : IMP-S41U)

この節では、WEB メニュー画面の起動方法と使用方法について説明します。また、WEB メニュー画面の基本操作として、次の機能について説明します。

- ・ 入力チャンネルの選択
- ・ 入力チャンネル選択ボタンのロック
- ・ シーケンス切替モードの設定
- ・ 表示される名前の変更
- ・ WEB メニュー画面の自動更新時間の設定
- ・ 設定の保存 / 復元
- ・ 工場出荷時の設定に戻す

操作を行うには、次の環境が必要です。

- ・ パソコンなどの制御機器と本機が LAN 通信できること
- ・ WEB ブラウザの JavaScript が有効であること

JavaScript を有効に設定する方法は、各 WEB ブラウザのヘルプなどでご確認ください。

7.2.1 WEB メニュー画面の起動

WEB メニュー画面から本機を制御するときは、WEB ブラウザのアドレスバーに、本機に設定した IP アドレスを入力してください。WEB メニュー画面が表示されます。

【参照：8.9.1 IP アドレス (P.68)】

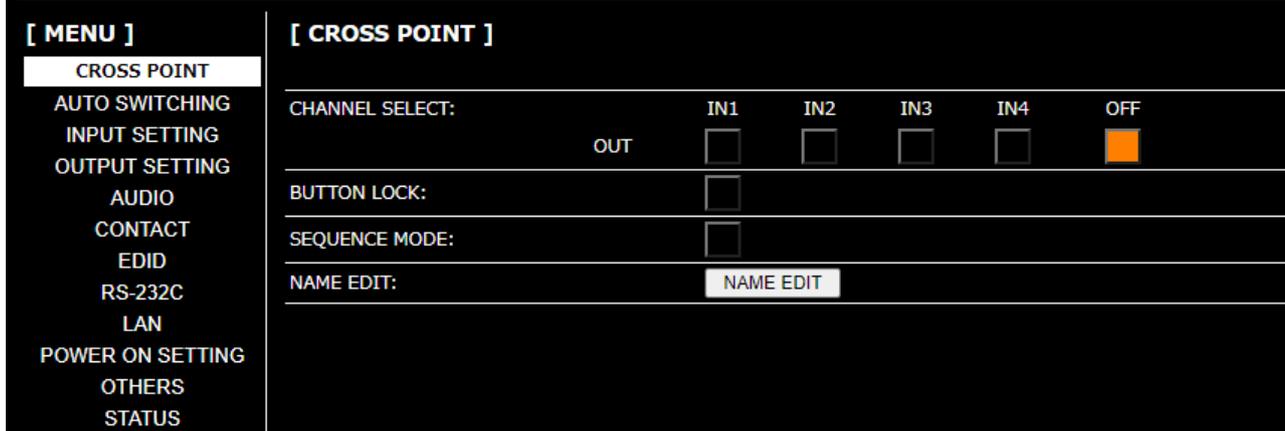
【参照：8.9.4 TCP ポート番号 (P. 69)】

[表 7.3] アドレスバーへの入力例

WEB ブラウザの制御ポート番号	アドレスバーへの入力
80 番 (通常)	http://192.168.1.199
80 番以外 (5000 番 ~ 5999 番)	http://192.168.1.199:5000 (例：5000 番のとき)



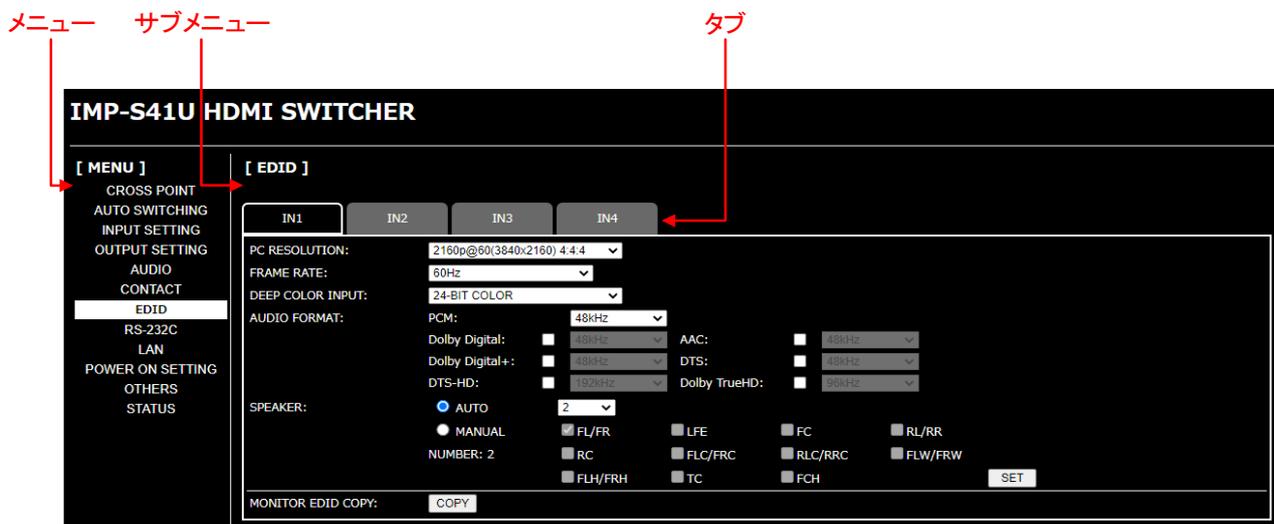
IMP-S41U HDMI SWITCHER



[図 7.6] WEB メニュー画面の起動画面 (図：IMP-S41U)

7.2.2 WEB メニュー画面の使用方法

WEB メニュー画面の基本的な使用方法について説明します。



【図 7.7】WEB メニュー画面 (図 : IMP-S41U)

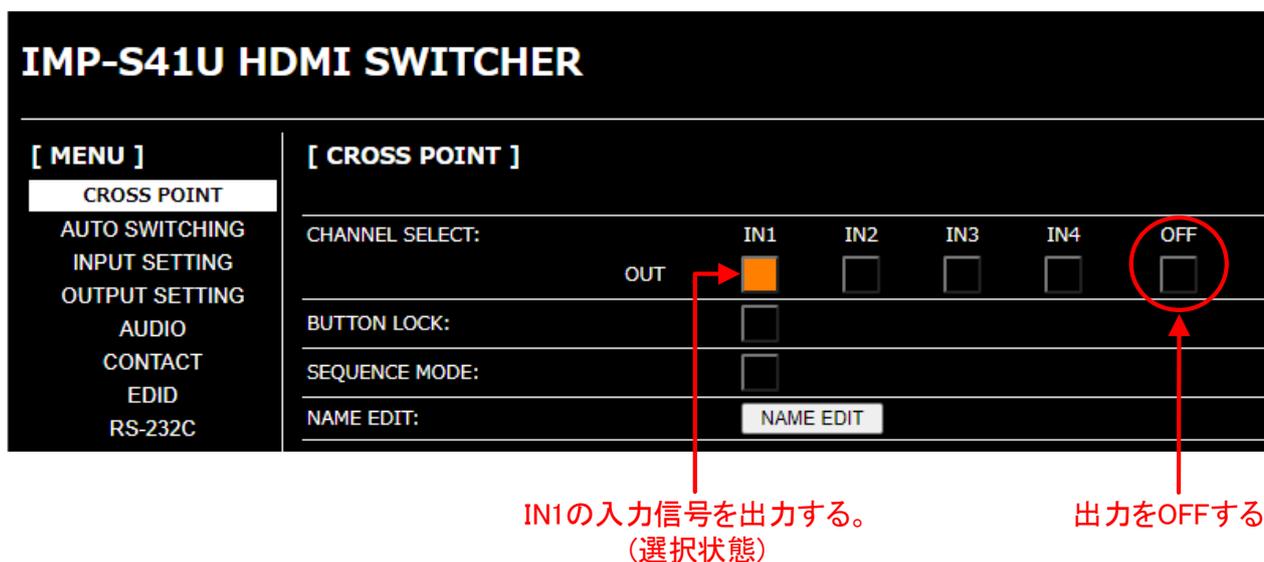
- ① 「メニュー」から、設定する項目を選択します。
項目を選択すると、「サブメニュー」に各種設定項目が表示されます。
- ② チャンネルごとに設定項目がある場合は、チャンネルの「タブ」が表示されます。
- ③ 「サブメニュー」から各種設定をします。
設定をするときは、次の表を参照してください。

【表 7.4】操作方法

名称	表示	説明
実行ボタン		メニュー項目に応じた動作を実行します。
プルダウンリスト		複数の選択肢の中から設定値を選択します。
スピンドット		右側の上下ボタンで設定値を設定します。 テキストエリアに設定値を直接入力することもできます。
スライダーバー		バーを左右に動かして設定値を設定します。
チェックボックス	<input checked="" type="checkbox"/> FL/FR	チェックすることでその機能が有効になります。
ラジオボタン	<input type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	複数の選択肢の中から設定値を選択します。

7.2.3 入力チャンネルの選択

映像信号と音声信号を出力するチャンネルは、[CROSS POINT] メニューの [CHANNEL SELECT] から選択してください。[OFF] ボタンを選択すると、映像信号と音声信号の出力を OFF にします。



【図 7.8】 入力チャンネルの選択 (図 : IMP-S41U)

【参考】 HDCP 付きの映像信号が入力された入力チャンネルは、一度選択されて映像が出力されると、HDCP 認証の状態を維持します。そのため、入力チャンネルを切り換えたときの HDCP 再認証の動作が省かれることで、入力チャンネルを切り換えてからシンク機器に映像が表示されるまでの時間は短くなります。ただし、本機の電源を入れ直したとき、または入力側の HDMI ケーブルを抜き差ししたときは、HDCP の認証状態が切れます。

【参照 : 7.1.1 入力チャンネルの選択 (P.23)】

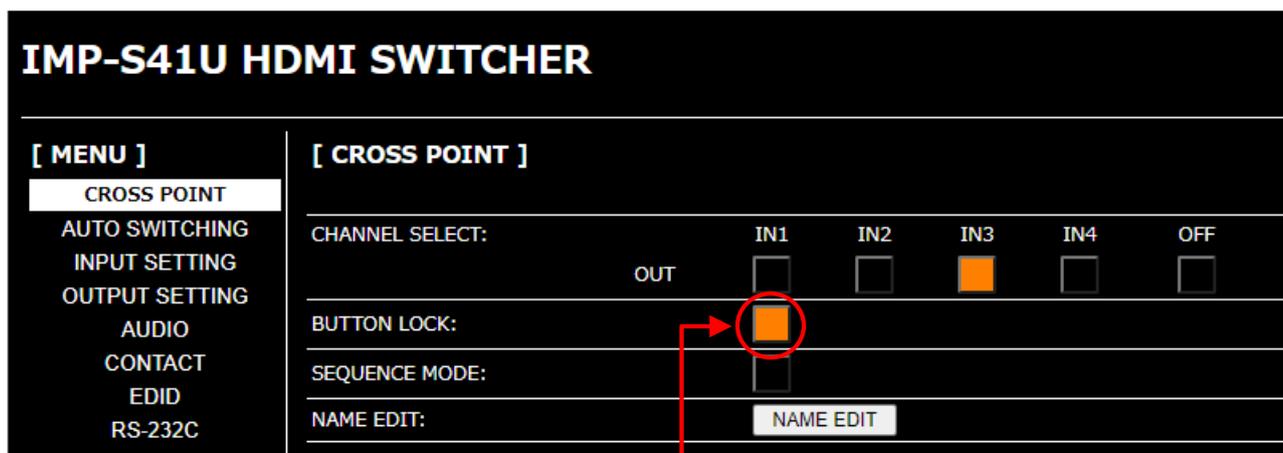
7.2.4 入力チャンネル選択ボタンのロック設定

入力チャンネル選択ボタンのロック設定と解除は、[CROSS POINT] メニューの [BUTTON LOCK] から設定してください。

ロックを設定するには、[BUTTON LOCK] ボタンをクリックしてください。ボタンは黄色に点灯し、本体の入力チャンネル選択ボタンにロックが設定されます。ロック中は、本体の「IN1」ボタンによるロック解除を除き、入力チャンネル選択ボタンの操作はできません。

なお、WEB メニュー上の [CHANNEL SELECT] ボタンからの操作はできます。

ロックを解除するには、[BUTTON LOCK] ボタンを再度クリックしてください。ボタンは黄色から黒になり、入力チャンネル選択ボタンのロックが解除されます。



ロックの設定と解除をする。
 点灯:ロック設定
 消灯:ロック解除

[図 7.9] 入力チャンネル選択ボタンのロック設定 (図 : IMP-S41U)

【参照 : 7.1.2 入力チャンネル選択ボタンのロック設定 (P.24)】

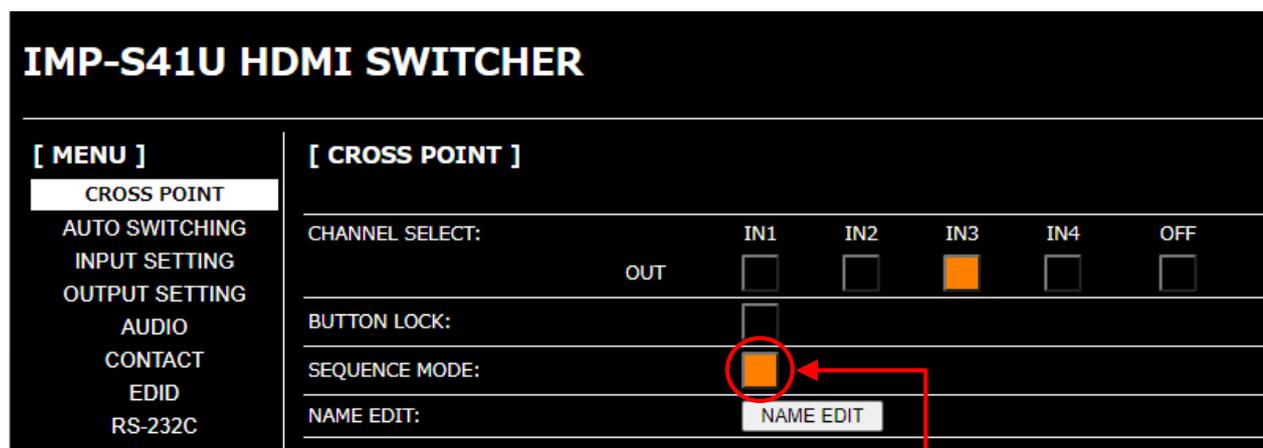
7.2.5 シーケンス切換モードの設定

シーケンス切換モードを使用すると、入力チャンネルを任意の間隔で自動的に切り換えることができます。このモードへ移行するには、[CROSS POINT] メニューの [SEQUENCE MODE] から設定してください。

シーケンス切換モードを ON にするには、[SEQUENCE MODE] ボタンをクリックしてください。ボタンは黄色に点灯し、[AUTO SWITCHING] メニューのシーケンス切換設定に合わせて、入力チャンネルが切り換わります。

シーケンス切換モードを OFF にするには、[SEQUENCE MODE] ボタンを再度クリックしてください。ボタンは黄色から黒になり、シーケンス切換モードは無効となります。

【参照：8.2.4 シーケンス切換モード設定 (P.46)】

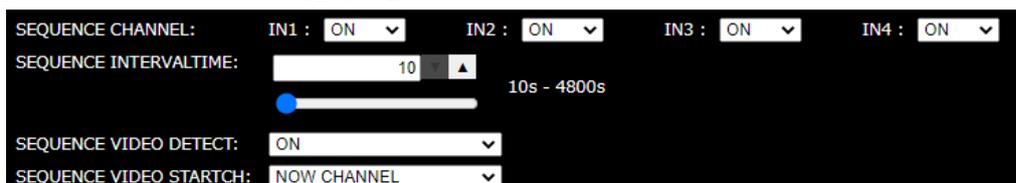


シーケンス切換モードの設定をする。

点灯:ON

消灯:OFF

[AUTO SWITCHING] メニューのシーケンス切換設定



【図 7.10】 シーケンス切換モードの設定 (図：IMP-S41U)

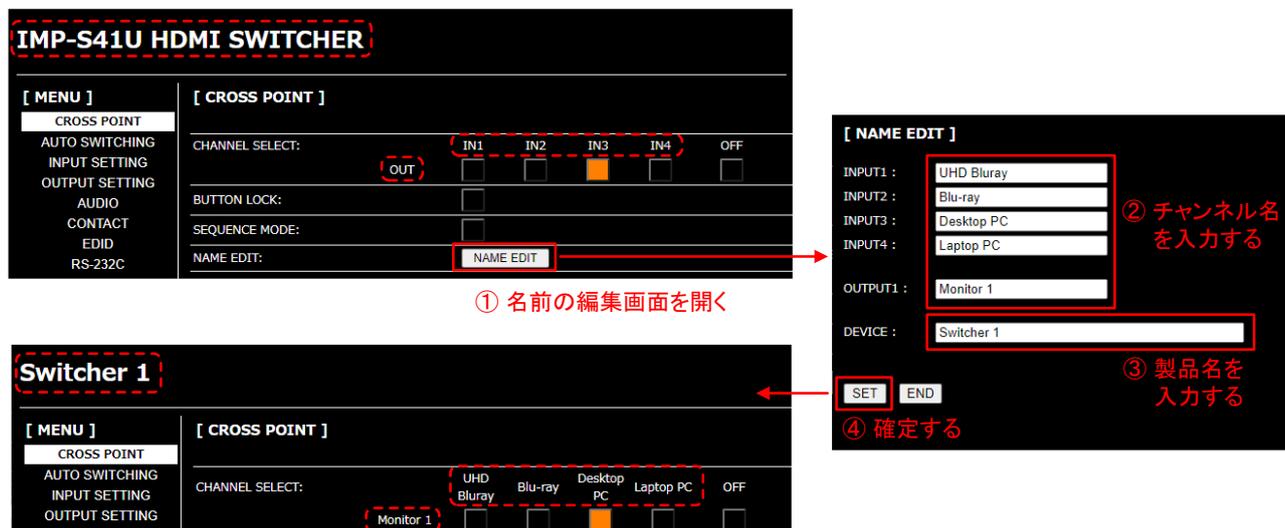
【参考】 シーケンス切換モードが ON のとき、入力チャンネル選択ボタンでの入力チャンネル選択は無効になります。

7.2.6 表示される名前の変更

WEB メニュー画面に表示される入出力チャンネル名と製品名は、変更ができます。

名前を変更するには、[CROSS POINT] メニューの [NAME EDIT] にある [NAME EDIT] ボタンから設定してください。

入出力チャンネル名は全角 5 文字または半角 10 文字まで、製品名は全角 20 文字または半角 40 文字まで登録できます。



[図 7.11] 入出力チャンネル名と製品名の変更 (図 : IMP-S41U)

7.2.7 WEB メニュー画面の自動更新時間の設定

[CROSS POINT] と [STATUS] の画面は、1 秒 ~ 10 秒間隔で自動更新ができます。

自動更新時間の設定は、[OTHERS] メニューの [AUTO RELOAD TIME] から行ってください。時間は 1 秒単位で設定できます。

OFF に設定すると、手動で WEB ブラウザの更新をするまで、本機の状態が変わっても画面は更新されません。

工場出荷時は OFF に設定されています。



[図 7.12] WEB メニュー画面の自動更新時間の設定 (図 : IMP-S41U)

7.2.8 設定の保存 / 復元

本機に保存したすべての設定は、バックアップファイルとしてパソコンに保存ができ、また復元ができます。

■ 設定の保存

バックアップファイルを作成するには、[OTHERS] メニューの [BACKUP/RESTORE] にある [BACKUP] ボタンから行ってください。バックアップファイルの保存確認メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。

拡張子が「.idm」の名前でバックアップファイルがパソコンに保存されます。

IMP-S21U … imp-s21u.idm

IMP-S41U … imp-s41u.idm

バックアップファイルの名前は変更ができます。

■ 設定の復元

バックアップファイルを読み出し、設定した内容を復元するには、[OTHERS] メニューの [ファイルを選択] ボタンからバックアップファイルを選択し、[RESTORE] ボタンで実行してください。

復元が完了し、本機が再起動されるまで、WEBメニューの操作や、本機の電源をオフにしないでください。バックアップファイルが正しくない場合は、操作の途中で警告を示すダイアログボックスが表示されます。



[図 7.13] 設定の保存と復元 (図 : IMP-S41U)

7.2.9 工場出荷時の設定に戻す

メニュー設定と入出力チャンネル設定を工場出荷時の設定に戻すには、[OTHERS] メニューの [INITIALIZE] から行います。

[NORMAL INITIALIZE] ボタンを押すと、LAN の通信を除く設定が初期化されます。

[ALL INITIALIZE] ボタンを押すと、LAN の通信を含むすべての設定が初期化されます。

初期化が実行されると本機は再起動します。

【参照：7.4 工場出荷時設定一覧 (P.38)】

工場出荷時の設定に戻す前に、必要に応じてバックアップファイルを作成し、保存してください。

【参照：7.2.8 設定の保存 / 復元 (P.33)】



LAN設定を除く初期化

LAN設定を含む初期化

【図 7.14】 工場出荷時の設定に戻す (図：IMP-S41U)

7.3 4K に対応していないソース機器を接続する場合の注意

4K に対応していないソース機器を接続する場合、本機の内蔵 EDID の初期値は“2160p@60(3840x2160) 4:4:4”のため、映像が出力されないことがあります。また、ソース機器が DVI 信号で出力し、音声が出力されないこともあります。

このソース機器から HDMI 信号を出力させるには、EDID の設定を適切な解像度に変更してください。

EDID の解像度の変更方法は、入力チャンネル選択ボタン、WEB メニュー画面およびコマンドから操作できます。

この節では、EDID の解像度の変更方法について説明します。

【参考：8.7.1 EDID の解像度 (P.59)】

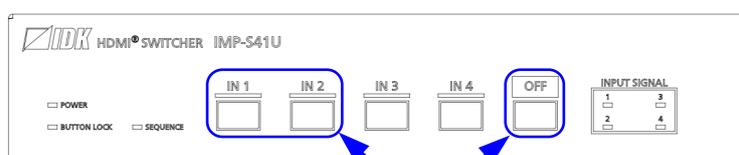
7.3.1 入力チャンネル選択ボタンからの操作 (EDID 変更モード)

「IN1」・「IN2」・「OFF」 ボタンを同時に 5 秒間長押しすることにより、EDID 変更モードへと移行します。

各ボタンはブザー音が鳴るまで押し続けてください。ブザー音が「ピピピッ」と鳴ると、EDID 変更モードへと移行し、EDID の解像度を変更することができます。

入力チャンネル選択ボタンから変更できる EDID の解像度は、“2160p@60(3840x2160) 4:4:4”と“1080p@60(1920x1080)”です。

なお 10 秒間、入力チャンネル選択ボタンを操作しない場合は、ブザー音が「ピピピッ」と鳴り、EDID 変更モードは終了します。

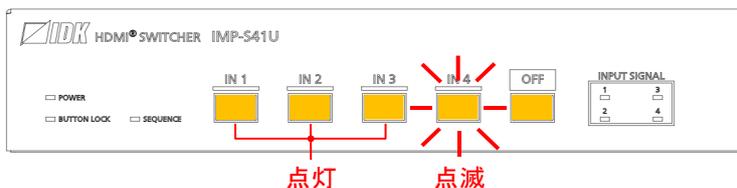


同時に長押しする

[図 7.15] EDID 変更モード (図：IMP-S41U)

■ 設定されている EDID の解像度を確認するには

入力チャンネル選択ボタンの点灯 / 点滅から、各チャンネルに設定されている解像度を確認できます。



[図 7.16] EDID の解像度の設定状態 (図 : IMP-S41U)

[表 7.5] ボタンと、EDID の解像度の関係

ボタン	設定されている EDID の解像度
点灯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2160p@30(3840x2160) ~ 4096x2160@60 4:4:4 ・ EXTERNAL (外部 EDID) ・ COPY EDID
点滅	4K 以外の解像度 (SVGA ~ WQXGA)

■ EDID の解像度を変更するには

EDID の解像度の設定を変更するには、入力チャンネル選択ボタンから操作してください。

「2160p@60(3840x2160) 4:4:4」に設定を変更する場合：

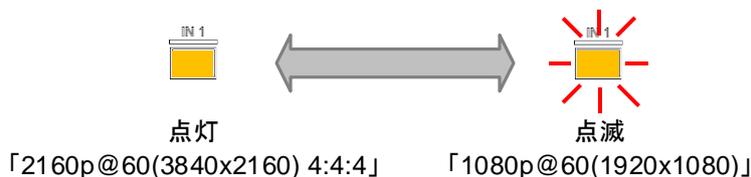
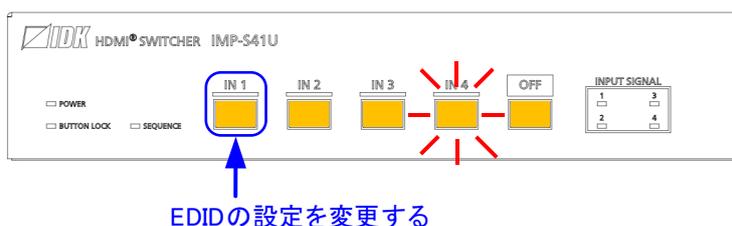
点滅している任意の入力チャンネル選択ボタンを押してください。

EDID の解像度が「2160p@60(3840x2160) 4:4:4」に変更され、入力チャンネル選択ボタンは点灯します。

「1080p@60(1920x1080)」に設定を変更する場合：

点灯している任意の入力チャンネル選択ボタンを押してください。

EDID の解像度が「1080p@60(1920x1080)」に変更され、入力チャンネル選択ボタンは点滅します。



[図 7.17] EDID の解像度の設定方法 (図 : IMP-S41U)

【参考】 “2160p@60(3840x2160) 4:4:4” と “1080p@60(1920x1080)” 以外の解像度に変更する場合は、WEB メニュー画面またはコマンドから操作してください。

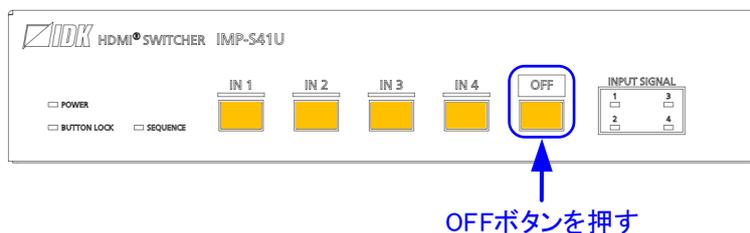
【参考：7.3.2 WEB メニュー画面からの操作 (P.37)】

【参考：7.3.3 コマンドからの操作 (P.37)】

■ EDID 変更モードを終了するには

「OFF」ボタンを押してください。

ブザー音が「ピピピッ」と鳴り、EDID 変更モードは終了します。



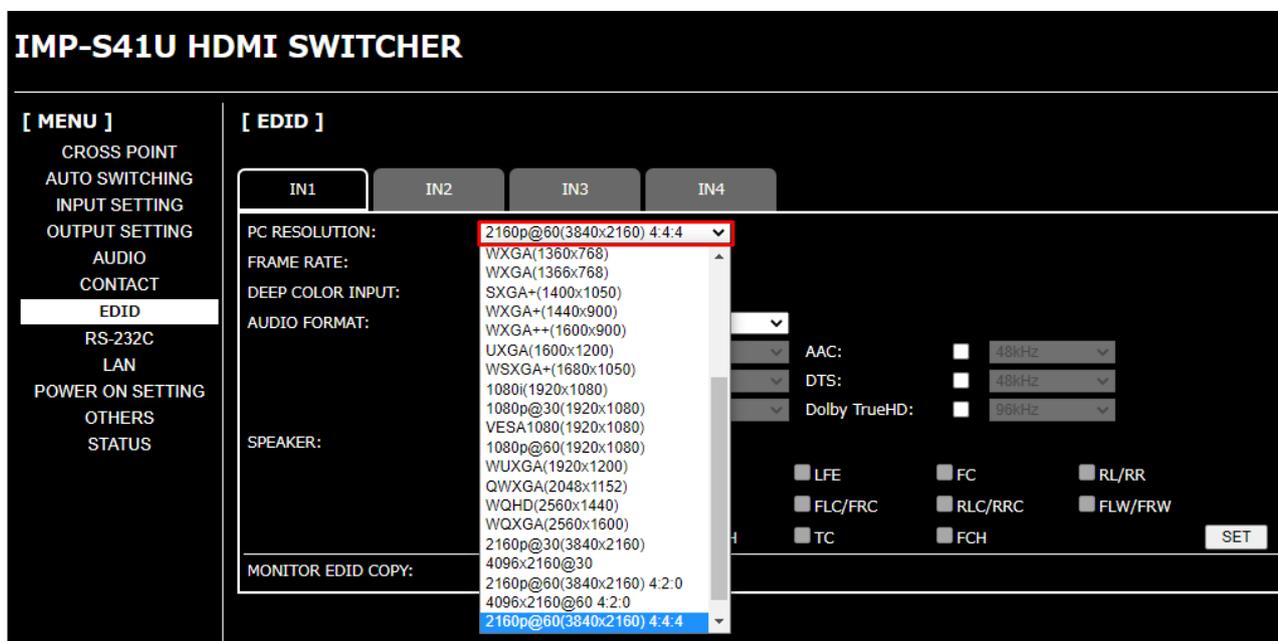
[図 7.18] EDID 変更モードの終了 (図 : IMP-S41U)

【参考】 10 秒間、入力チャンネル選択ボタンを操作しない場合も、EDID 変更モードは終了します。

【注意】 EDID 変更モードを終了したとき、このモードに移行する前に選択していたチャンネルと、現在のチャンネルは異なる場合があります。その場合は、再度任意のチャンネルを選択してください。

7.3.2 WEB メニュー画面からの操作

[EDID] メニューの [PC RESOLUTION] にあるプルダウンリストから任意の EDID の解像度を設定してください。



[図 7.19] WEB メニュー画面からの EDID の解像度の設定 (図 : IMP-S41U)

7.3.3 コマンドからの操作

「IMP-S シリーズ取扱説明書<コマンドガイド>」をご参照ください。

7.4 工場出荷時設定一覧

工場出荷時設定の一覧です。

[表 7.6] 工場出荷時設定一覧 (1/2)

設定	初期値	参照 ページ
入力チャンネルの選択		
入力チャンネルの選択	OFF	29
入力チャンネル選択ボタンのロック設定		
入力チャンネル選択ボタンのロック設定	ロック解除	30
入力チャンネル自動切換設定		
入力チャンネル自動切換優先度	OFF	42
入力チャンネル自動切換後のマスク時間	0 秒	45
入力チャンネル自動切換待機中の映像出力	黒色の映像を出力	45
シーケンス切換モード設定	OFF	46
シーケンス切換モード 対象チャンネル	IN1 ~ IN4 : 切り換えの対象に含める	48
シーケンス切換モード 切換間隔	10 秒	48
シーケンス切換モード 入力検出チャンネルのみ設定	シーケンスの切り換えを映像信号の入力が検出されているチャンネルのみで行う	48
シーケンス切換モード 動作開始チャンネル	現在の入力チャンネルから開始する	48
入力設定		
映像信号の無入力監視	10 秒	50
HDCP 入力の許可 / 禁止	HDCP 2.2	51
出力設定		
出力モード	AUTO	53
シンク機器 EDID チェック	EDID 読み取りエラー時 DVI 機器と判断	53
HDCP 再認証	—	54
音声設定		
音声出力ミュート	ミュート OFF	55
接点入力		
接点入力端子のチャタリング除去時間	30 ms	57
EDID		
EDID の解像度	2160p@60(3840x2160)4:4:4	59
フレームレート	60Hz	63
Deep Color 入力	24 bit / pixel (8 bit / component)	63
音声フォーマット	PCM : 48 kHz Dolby Digital : OFF AAC : OFF Dolby Digital+ : OFF DTS : OFF DTS-HD : OFF Dolby TrueHD : OFF	64
スピーカー構成	MODE : AUTO NUMBER : 2ch (FL / FR)	65
EDID データのコピー	—	65

[表 7.7] 工場出荷時設定一覧 (2/2)

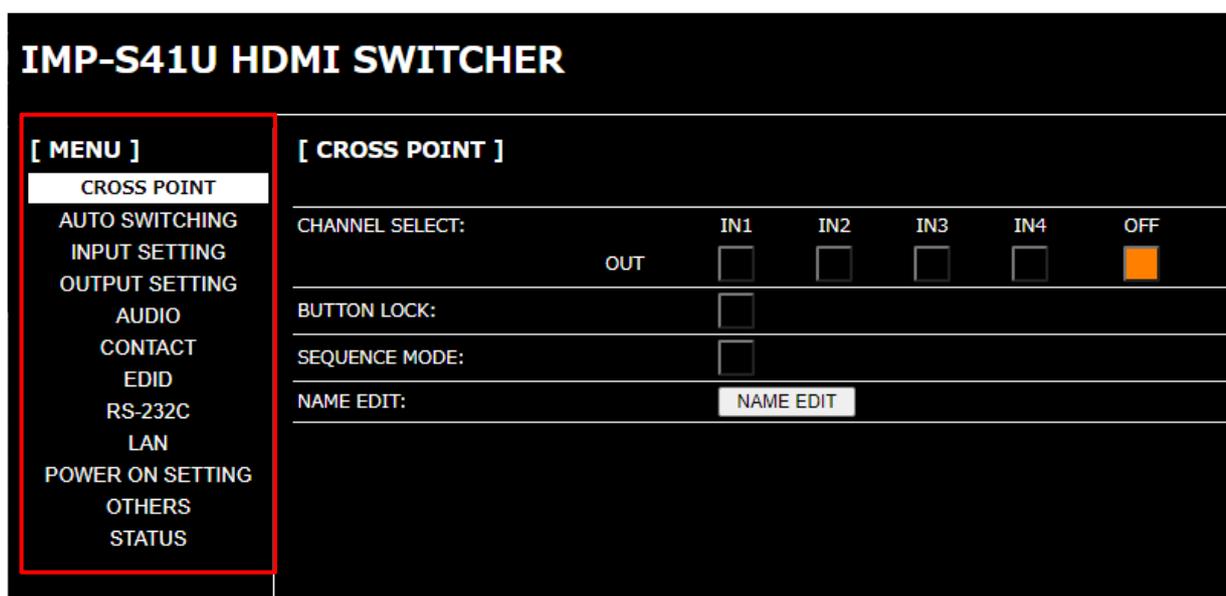
設定	初期値	参照 ページ
RS-232C 通信設定		
通信速度の設定	9600 bps	66
データビット長の設定	8 bit	67
パリティチェックの設定	なし	67
ストップビットの設定	1 bit	67
LAN 通信設定		
IP アドレス	192.168.1.199	68
サブネットマスク	255.255.255.0	68
MAC アドレス表示	—	69
TCP ポート番号	コネクション 1 ~ 4 : 1100 コネクション 5 ~ 7 : 23	69
電源投入時の状態設定		
電源投入時の入力チャンネル	LAST CHANNEL	71
電源投入時のボタンロック	AUTO	71
その他設定		
ブザー音	ON	72
バージョン情報の表示	ファームウェアのバージョン	72
ステータス表示		
入力信号状態表示	—	74
シンク機器状態表示	—	77
エラーメッセージ表示	—	78
シンク機器の EDID 情報表示	—	80

8 各種設定

本章では WEB メニュー画面を元に、機能と設定について、IMP-S41U の入力コネクタ数で説明しています。他の機種を設定するときは、入力数に準じた数に置き換えてご使用ください。
なお、機能の詳細を確認する場合は、必要な箇所をお読みください。

8.1 WEB メニュー一覧

入出力設定、EDID 設定、通信設定などの各種設定は、[MENU] から選択してください。



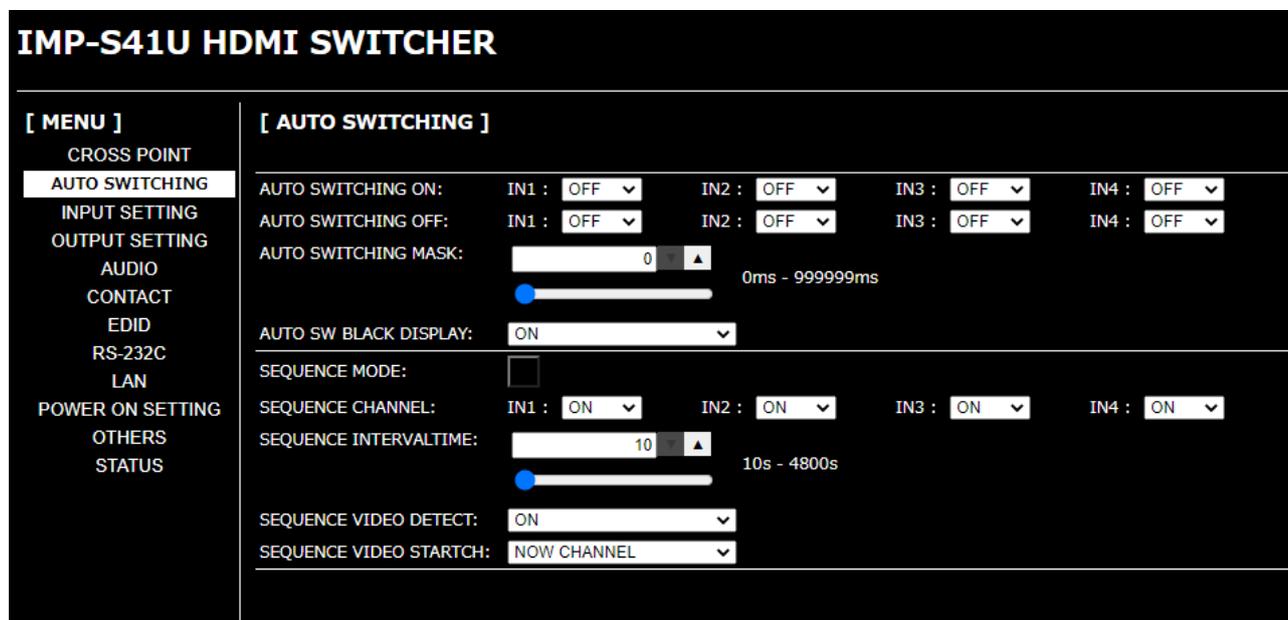
[図 8.1] WEB メニュー (図 : IMP-S41U)

[表 8.1] WEB メニューと設定内容の対応一覧

[MENU]	各種設定の内容	参照ページ
CROSS POINT	<ul style="list-style-type: none"> ・入力チャンネルの選択 ・入力チャンネル選択ボタンのロック設定 ・シーケンス切換モードの設定 ・表示される名前の変更 	29 ~ 32
AUTO SWITCHING	<ul style="list-style-type: none"> ・入力チャンネル自動切換設定 ・シーケンス切換設定 	41 ~ 48
INPUT SETTING	入力設定	49 ~ 51
OUTPUT SETTING	出力設定	52 ~ 54
AUDIO	音声設定	55
CONTACT	接点入力	56 ~ 57
EDID	EDID	58 ~ 65
RS-232C	RS-232C 通信設定	66 ~ 67
LAN	LAN 通信設定	68 ~ 69
POWER ON SETTING	電源投入時の状態設定	70 ~ 71
OTHERS	その他設定	72
STATUS	ステータス表示	73 ~ 81

8.2 入力チャンネル自動切換設定

入力チャンネル自動切換とシーケンス切換に関する設定について説明します。
この設定は、[AUTO SWITCHING] メニューから行います。



[図 8.2] AUTO SWITCHING メニュー (図 : IMP-S41U)

■ 入力チャンネル自動切換

[表 8.2] サブメニューと機能名の対応表

サブメニュー名	機能名	参照ページ
AUTO SWITCHING ON	入力チャンネル自動切換優先度	42
AUTO SWITCHING OFF		
AUTO SWITCHING MASK	入力チャンネル自動切換後のマスク時間	45
AUTO SW BLACK DISPLAY	入力チャンネル自動切換待機中の映像出力	45

■ シーケンス切換

[表 8.3] サブメニューと機能名の対応表

サブメニュー名	機能名	参照ページ
SEQUENCE MODE	シーケンス切換モード設定	46
SEQUENCE CHANNEL	シーケンス切換モード 対象チャンネル	48
SEQUENCE INTERVALTIME	シーケンス切換モード 切換間隔	48
SEQUENCE VIDEO DETECT	シーケンス切換モード 入力検出チャンネルのみ設定	48
SEQUENCE VIDEO STARTCH	シーケンス切換モード 動作開始チャンネル	48

8.2.1 入力チャンネル自動切換優先度

メニュー	AUTO SWITCHING → AUTO SWITCHING ON (OFF から ON に変化あり)
	AUTO SWITCHING → AUTO SWITCHING OFF (ON から OFF に変化あり)
設定値	OFF : 入力切換優先度 OFF ※初期値
	1 ~ 4 : 入力切換優先度 1 (高) ~ 4 (低)

本機は入力信号が“OFF”から“ON”または、“ON”から“OFF”に変化があった場合、入力チャンネルを自動で切り換えることができます。本設定では、入力チャンネルごとに自動切換優先度の設定ができます。

■ OFF から ON に変化があった場合 : [AUTO SWITCHING ON] サブメニュー

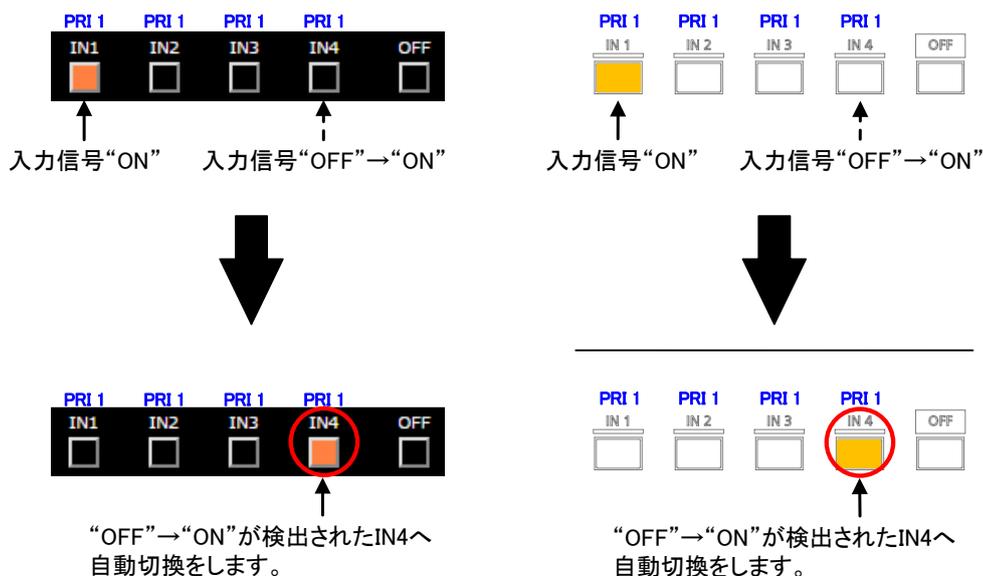
次のいずれかの条件のときに INPUT SIGNAL ランプが黄色に点灯し、入力信号を検知してから 4 秒間、入力信号が途切れなかった場合に入力チャンネルへ自動切換をします。

入力チャンネル選択ボタンは、入力信号を検知してから入力チャンネルの自動切換をするか中断するまで点滅します。

- ・ 入力信号が“OFF”から“ON”に変化した入力チャンネルの自動切換優先度の設定が、現在の入力チャンネルと同じか、または高いとき
- ・ 入力信号が“OFF”から“ON”に変化した入力チャンネルより高い自動切換優先度の入力チャンネルに映像が入力されていないとき

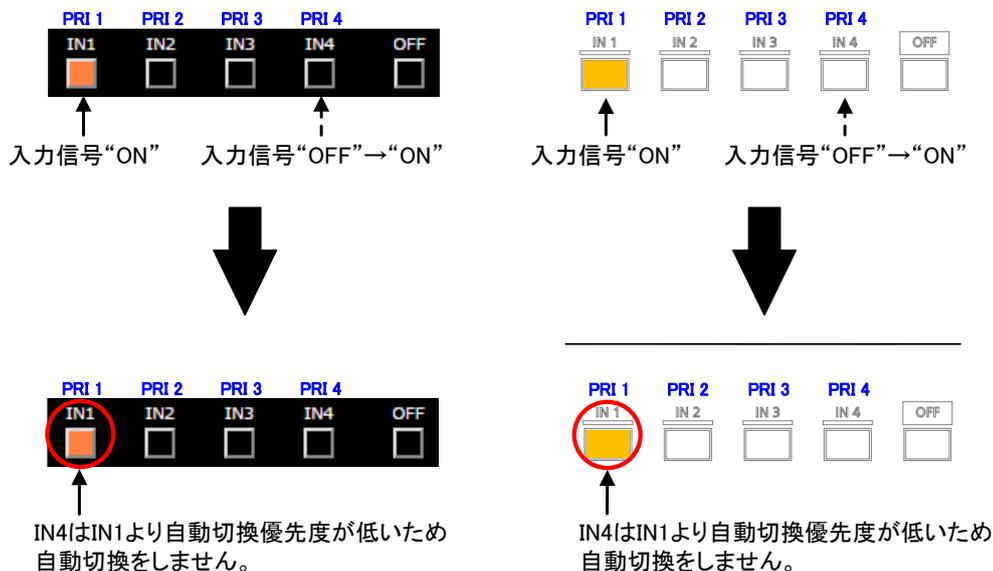
ただし、WEB メニュー画面、入力チャンネル選択ボタン、接点入力または通信コマンドにより入力チャンネルを切り換えたときは、それから 20 秒間は自動切換をしません。また、自動切換優先度が“OFF”に設定されている入力チャンネルへは、自動切換をしません。

入力チャンネルごとの自動切換優先度 (PRI *) が同じ場合



[図 8.3] IMP-S41U で“OFF”から“ON”に変化したときの動作例
(自動切換優先度が同じ場合)

入力チャンネルごとの
自動切換優先度 (PRI *) が異なる場合



[図 8.4] IMP-S41U で “OFF” から “ON” に変化したときの動作例
(自動切換優先度が異なる場合)

■ ON から OFF に変化があった場合 : [AUTO SWITCHING OFF] サブメニュー

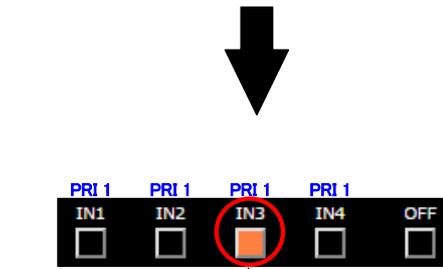
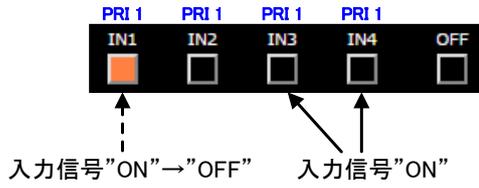
黄色に点灯していた INPUT SIGNAL ランプが消灯し、3 秒間入力信号が無いとき、下記に示す入力チャンネルへ自動切換をします。

入力チャンネル選択ボタンは、自動切換をするか中断するまで点滅します。

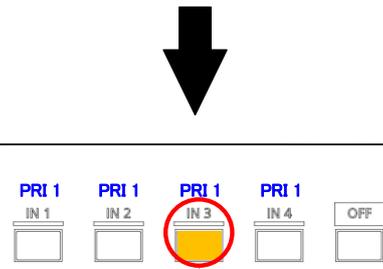
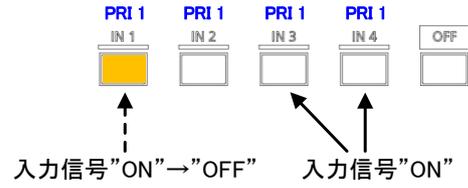
- ・ 入力信号がある自動切換優先度の設定が一番高い入力チャンネル
- ・ 自動切換優先度の設定が同じチャンネルが複数ある場合は、入力信号がある一番若い番号の入力チャンネル

ただし、WEB メニュー画面、入力チャンネル選択ボタン、接点入力または通信コマンドにより入力チャンネルを切り換えたときは、それから 20 秒間は自動切換をしません。また、自動切換優先度が “OFF” に設定されている入力チャンネルへは、自動切換をしません。

入力チャンネルごとの
自動切換優先度 (PRI *) が同じ場合



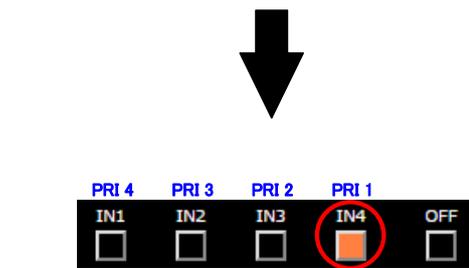
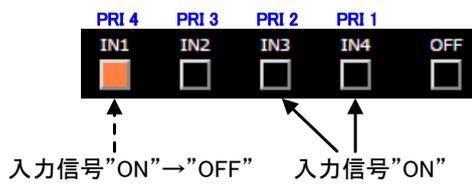
自動切換優先度が同じ場合は、入力がある一番若いチャンネルに自動切換をします。



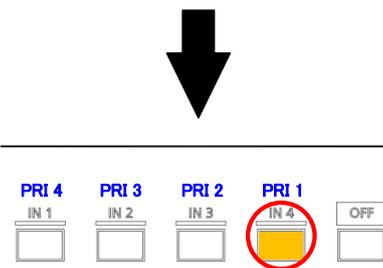
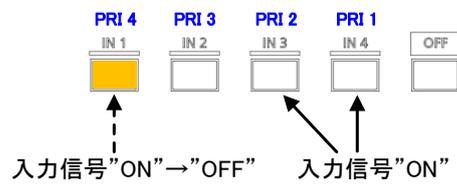
自動切換優先度が同じ場合は、入力がある一番若いチャンネルに自動切換をします。

[図 8.5] IMP-S41U で “ON” から “OFF” に変化するときの動作例
(自動切換優先度が同じ場合)

入力チャンネルごとの
自動切換優先度 (PRI *) が異なる場合



IN1が“OFF”になったので、入力があり自動切換優先度の高いIN4に自動切換をします。



IN1が“OFF”になったので、入力があり自動切換優先度の高いIN4に自動切換をします。

[図 8.6] IMP-S41U で “ON” から “OFF” に変化するときの動作例
(自動切換優先度が異なる場合)

8.2.2 入力チャンネル自動切換後のマスク時間

メニュー AUTO SWITCHING → AUTO SWITCHING MASK
設定値 0 ~ 999999 : 0 秒 ~ 999.999 秒 ※初期値 0 秒

入力チャンネルの自動切換をした後、次の自動切換を有効にするまでのマスク時間を設定します。
設定した時間内は、入力チャンネルの自動切換をしません。

8.2.3 入力チャンネル自動切換待機中の映像出力

メニュー AUTO SWITCHING → AUTO SW BLACK DISPLAY
設定値 ON : 黒色の映像を出力 ※初期値
OFF : 現在の映像を維持

入力チャンネルの自動切換において、OFF から ON に入力信号の変化が発生し、映像が切り換わるまでの間の出力映像を設定します。

入力チャンネル選択ボタンは、入力信号を検知してから入力チャンネルの自動切換をするか、中断するまで点滅します。

【参照 : 8.2.1 入力チャンネル自動切換優先度 (P.41)】

8.2.4 シーケンス切換モード設定

メニュー AUTO SWITCHING → SEQUENCE MODE
 設定値 OFF : 無効 ※初期値
 ON : 有効

シーケンス切換モードの ON と OFF を設定します。

シーケンス切換モードを ON にすると、次の表の設定にあわせて、入力チャンネルを自動的に切り換えます。

[表 8.4] シーケンス切換設定

切換条件	初期値	参照先	設定の変更
対象チャンネル	IN1 : ON IN2 : ON IN3 : ON IN4 : ON	8.2.5 項 (P.48)	シーケンス切換モードがONのとき、 <u>設定の変更はできません。</u>
切換間隔	10 秒	8.2.6 項 (P.48)	
映像信号の入力されていない 入力チャンネルのスキップ	ON	8.2.7 項 (P.48)	
シーケンス切換モードの動作開始チャンネル ・ NOW CHANNEL : 現在の入力チャンネル ・ FIRST CHANNEL : 切換の対象に設定されている 一番若い番号の入力チャンネル	NOW CHANNEL	8.2.8 項 (P.48)	

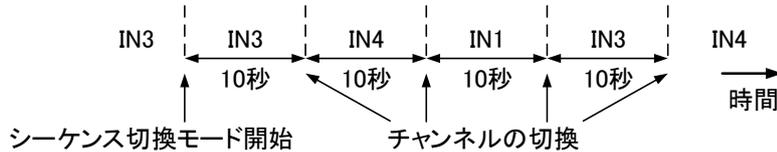
【参照 : 7.1.3 シーケンス切換モードの設定 (P.25) - 「IN2」ボタン操作】

【参照 : 7.2.5 シーケンス切換モードの設定 (P.31) - WEBメニュー画面操作】

【参考】 シーケンス切換モードが ON のとき、入力チャンネル選択ボタンでの入力チャンネル選択は無効になります。

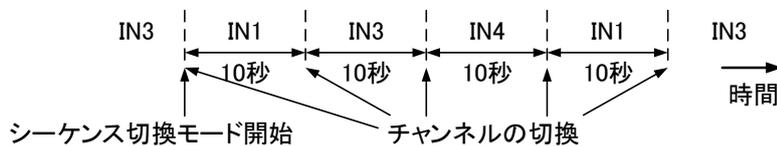
切換の対象となる入力チャンネル：IN1、IN3、IN4
切換間隔：10秒に設定されている場合の動作例

- 例1 開始する入力チャンネル：現在の入力チャンネル (NOW CHANNEL)
現在の入力チャンネル：IN3 に設定されている場合



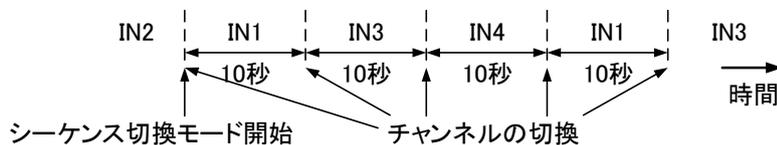
現在の入力チャンネル (IN3) が、切換の対象となる入力チャンネルに含まれているため、シーケンス切替モード開始時に、チャンネルの切替は発生しません。

- 例2 開始するチャンネル：一番若い入力チャンネル (FIRST CHANNEL)
現在の入力チャンネル：IN3 に設定されている場合



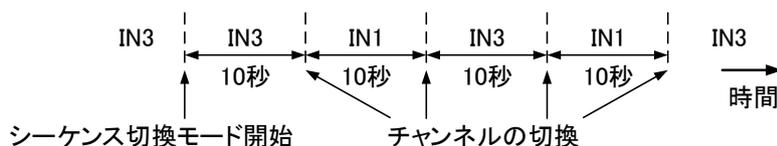
現在の入力チャンネル (IN3) が切換の対象となる一番若い入力チャンネル (IN1) と異なるため、シーケンス切替モード開始時に、切換の対象となる一番若い入力チャンネル (IN1) へのチャンネルの切替が発生します。

- 例3 開始するチャンネル：現在の入力チャンネル (NOW CHANNEL)
現在の入力チャンネル：IN2 に設定されている場合



現在の入力チャンネル (IN2) が切換の対象となる入力チャンネルに含まれていないため、シーケンス切替モード開始時に、切換の対象となる一番若い入力チャンネル (IN1) へのチャンネルの切替が発生します。

- 例4 開始するチャンネル：現在の入力チャンネル (NOW CHANNEL)
現在の入力チャンネル：IN3
映像入力信号検出 [SEQUENCE VIDEO DETECT]: ON
映像信号が入力されているチャンネル：IN1、IN3 の場合



入力チャンネルIN4は映像信号が入力されていないため、スキップされます。

【図 8.7】IMP-S41U のシーケンス切替モードの動作例

8.2.5 シーケンス切換モード 対象チャンネル

メニュー	AUTO SWITCHING → SEQUENCE CHANNEL
設定値	ON : 切換の対象に含める ※初期値 OFF : 切換の対象に含めない

シーケンス切換モードが有効のとき、各入力チャンネルを切換の対象に含めるかどうかを設定します。

【参考】 8.2.4 シーケンス切換モード設定 (P.46) の設定が ON のとき、設定の変更はできません。

8.2.6 シーケンス切換モード 切換間隔

メニュー	AUTO SWITCHING → SEQUENCE INTERVALTIME
設定値	10s ~4800s (1s ごと) : 10 秒 ~ 4800 秒 ※初期値 10 秒

シーケンス切換モードの切換間隔を設定します。

【参考】 8.2.4 シーケンス切換モード設定 (P.46) の設定が ON のとき、設定の変更はできません。

8.2.7 シーケンス切換モード 入力検出チャンネルのみ設定

メニュー	AUTO SWITCHING → SEQUENCE VIDEO DETECT
設定値	ON : シーケンスの切換を映像信号の入力が検出されているチャンネルのみで行う ※初期値 OFF : シーケンスの切換をすべての入力チャンネルで行う

シーケンス切換モードを映像信号の入力が検出されているチャンネルのみで行う設定をします。

【参考】 8.2.4 シーケンス切換モード設定 (P.46) の設定が ON のとき、設定の変更はできません。

8.2.8 シーケンス切換モード 動作開始チャンネル

メニュー	AUTO SWITCHING → SEQUENCE VIDEO STARTCH
設定値	NOW CHANNEL : 現在の入力チャンネルから開始する ※初期値 FIRST CHANNEL : 切換の対象に設定されている一番若い番号の入力チャンネルから 開始する

シーケンス切換モードを開始するときに、現在の入力チャンネルから開始するか、切換の対象に設定されている一番若い番号の入力チャンネルから開始するかを設定します。

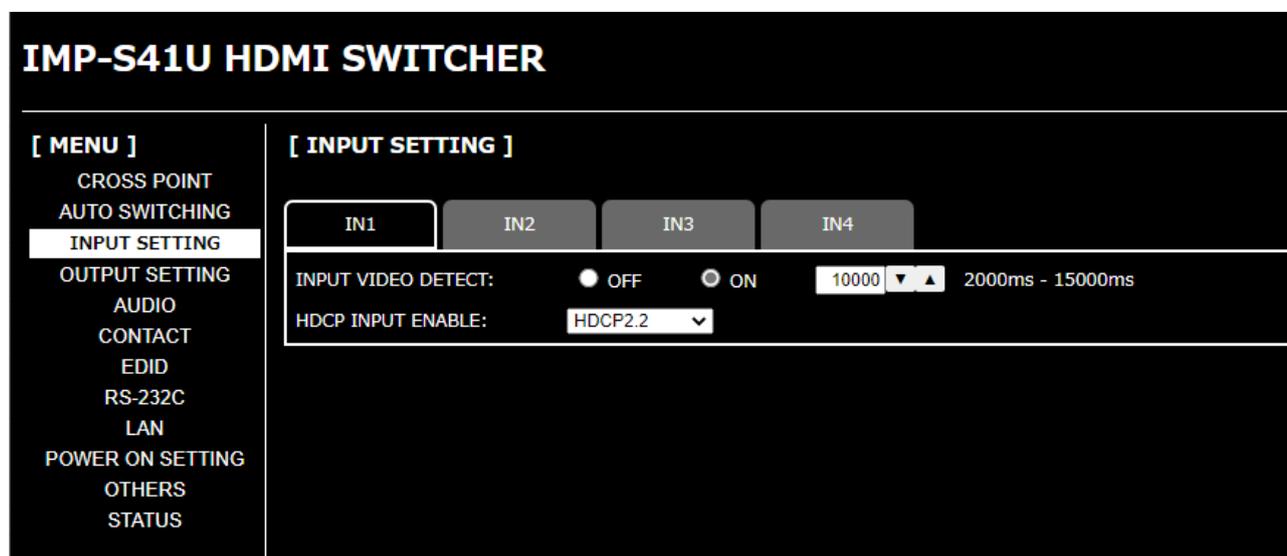
詳しい動作は、8.2.4 シーケンス切換モード設定 (P.46) をご参照ください。

【参考】 8.2.4 シーケンス切換モード設定 (P.46) の設定が ON のとき、設定の変更はできません。

8.3 入力設定

入力設定について説明します。

この設定は、[INPUT SETTING] メニューから行います。



[図 8.8] INPUT SETTING メニュー (図 : IMP-S41U)

[表 8.5] サブメニューと機能名の対応表

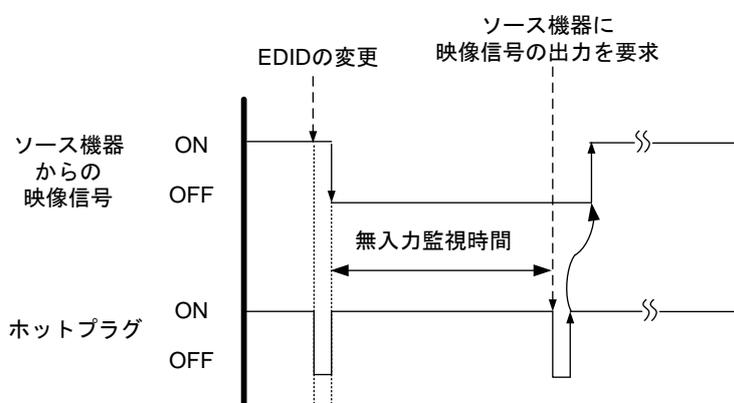
サブメニュー名	機能名	参照ページ
INPUT VIDEO DETECT	映像信号の無入力監視	50
HDCP INPUT ENABLE	HDCP 入力の許可 / 禁止	51

8.3.1 映像信号の無入力監視

メニュー	INPUT SETTING → INPUT VIDEO DETECT
設定値	OFF : 無入力監視しない ON : 無入力監視する 2000 ~ 15000 (100 ms ごと) : “無入力監視する” 場合のみ設定可能 2 秒 ~ 15 秒 ※初期値 10 秒

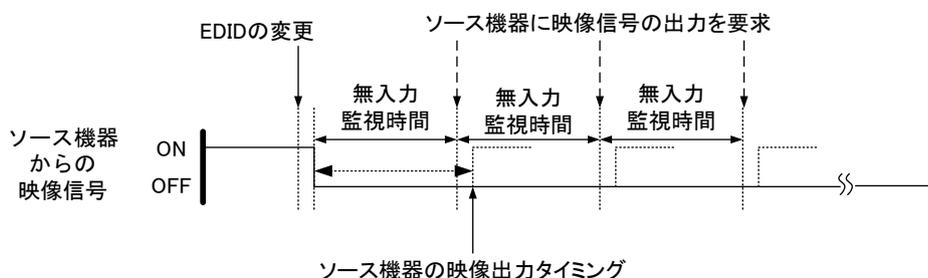
本機に接続されたソース機器の電源が入っているときに、EDID 設定の変更や本機の電源を ON / OFF すると、ごく一部のソース機器は信号を出力しなくなる場合があります。この場合、本機はソース機器に対して信号を出力するように要求することができます。

本メニューではソース機器が信号を出力しなくなってから本機が信号を出力するように要求するまでの時間を設定します。



[図 8.9] 映像信号の無入力監視時間

- 【注意】
- ・ パソコン (ソース機器) の“モニタの省電力機能”または“デュアルモニタ”を使用する場合は、“OFF”に設定してください。映像信号の出力要求を受けたパソコンは、“モニタの省電力機能”または“デュアルモニタ”を解除することがあります。
 - ・ ソース機器が映像を出力するタイミングより短い時間を設定すると、ソース機器はそのたびに出力信号の再設定を行い、映像信号が出力されない場合があります。映像信号が出力されない場合は、無入力監視時間を長めに設定してください。



[図 8.10] 出力信号設定の繰り返し

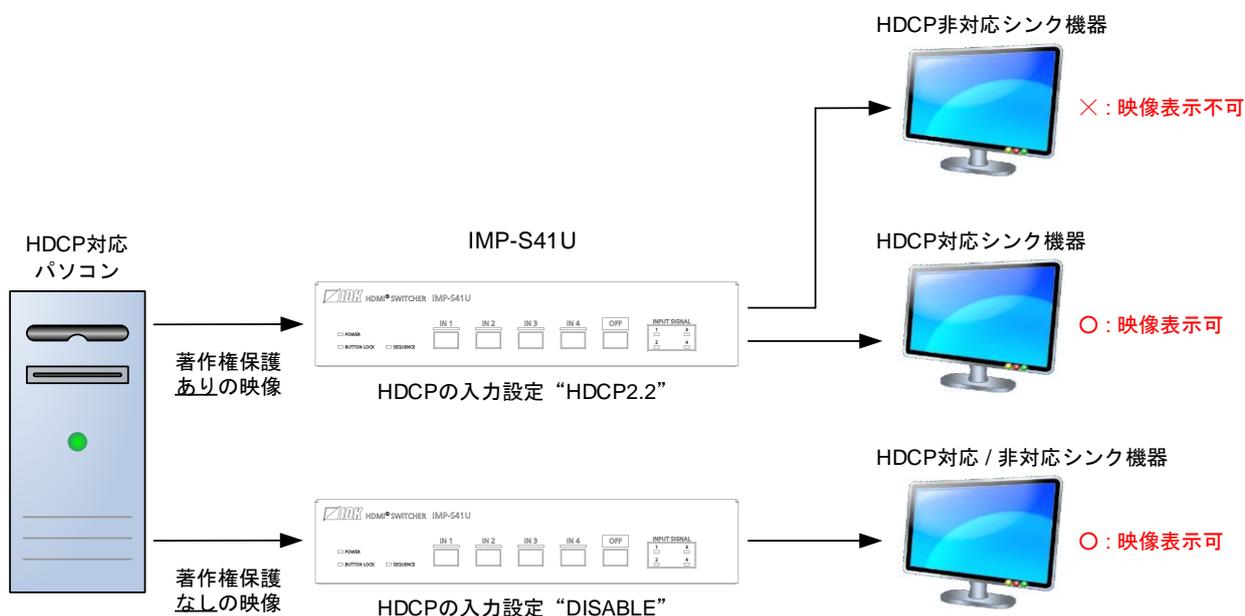
8.3.2 HDCP 入力の許可 / 禁止

メニュー	INPUT SETTING → HDCP INPUT ENABLE
設定値	HDCP2.2 : HDCP 2.2 と HDCP 1.4 を許可 ※初期値
	HDCP1.4 : HDCP 1.4 を許可
	DISABLE : HDCP を禁止

ソース機器に HDCP 出力を許可する設定をします。

一部のソース機器は、接続されるシンク機器が HDCP に対応しているかどうかを判断し、HDCP 出力の ON / OFF を決定します。

本機は HDCP に対応しているため、HDCP に対応していないシンク機器を接続した場合、映像が表示されないときがあります。このような場合、ソース機器に対して HDCP 出力を禁止する設定をすると、映像が表示されます。



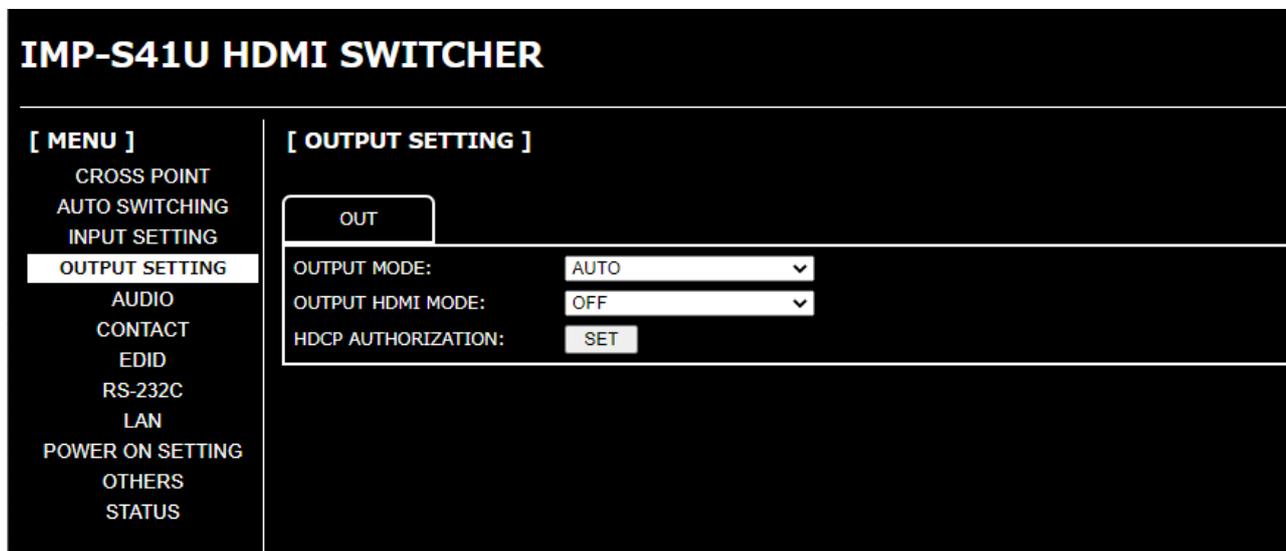
【図 8.11】 パソコンと HDCP 対応 / 非対応シンク機器との関係 (図 : IMP-S41U)

【注意】 著作権保護されたコンテンツを表示させる場合は、“HDCP2.2”または“HDCP1.4”に設定してください。

HDCP 2.2 (ストリームタイプ 0) のコンテンツは、HDCP 1.4 対応のシンク機器に表示できます。
HDCP 2.2 (ストリームタイプ 1) のコンテンツは、HDCP 2.2 対応のシンク機器に表示できますが、HDCP 1.4 対応のシンク機器には表示できません。

8.4 出力設定

出力設定について説明します。
この設定は、[OUTPUT SETTING] メニューから行います。



[図 8.12] OUTPUT SETTING メニュー (図 : IMP-S41U)

[表 8.6] サブメニューと機能名の対応表

サブメニュー名	機能名	参照ページ
OUTPUT MODE	出力モード	53
OUTPUT HDMI MODE	シンク機器 EDID チェック	53
HDCP AUTHORIZATION	HDCP 再認証	54

8.4.1 出力モード

メニュー	OUTPUT SETTING → OUTPUT MODE
設定値	AUTO : 自動 ※初期値
	DVI MODE : DVI 出力
	HDMI RGB MODE : RGB 出力
	HDMI YCbCr4:2:0 MODE : YCbCr 4:2:0 出力
	HDMI YCbCr4:2:2 MODE : YCbCr 4:2:2 出力
	HDMI YCbCr4:4:4 MODE : YCbCr 4:4:4 出力

出力する映像の色空間のモードを選択します。

選択したモードを優先に、シンク機器に適したモードで出力します。

-
- 【注意】
- ・ 4K フォーマット YCbCr 4:4:4 の信号が入力されたとき、YCbCr 4:2:0 対応 (YCbCr 4:4:4 非対応) のシンク機器に対して、本機は自動で YCbCr 4:2:0 出力します。
 - ・ 4K フォーマット YCbCr 4:2:0 への変換は、CEA-861 規格のタイミングのみ対応しています。
 - ・ DVI MODE を選択し、入力信号が 4K@30 以下のときは DVI 出力となります。
 - ・ DVI 出力のとき、デジタル音声は出力されません。
-

8.4.2 シンク機器 EDID チェック

メニュー	OUTPUT SETTING → OUTPUT HDMI MODE
設定値	OFF : EDID 読み取りエラー時 DVI 機器と判断 ※初期値
	ERROR1 : EDID 読み取りエラー時 HDMI 機器 (SCDC なし) と判断
	ALWAYS1 : 常時 HDMI 機器 (SCDC なし) と判断
	ERROR2 : EDID 読み取りエラー時 HDMI 機器 (SCDC あり) と判断
	ALWAYS2 : 常時 HDMI 機器 (SCDC あり) と判断

シンク機器 EDID のチェック方法を設定します。

本機は、シンク機器から EDID を取得し、シンク機器が HDMI 機器か DVI 機器かを判断して映像信号を出力します。しかし、何らかの原因で EDID を取得できない場合、シンク機器の種別が判断できないため、シンク機器が HDMI 機器だった場合に、DVI 機器と誤った判断をされることで、音声が出力されないなどの問題が発生することがあります。本メニューから、EDID の読み取りに失敗したときのシンク機器の種別判断条件を設定することで、任意の信号を出力できます。

-
- 【注意】
- ・ 本設定を初期値以外で使用する場合は、**8.7.1 EDID の解像度 (P.59)** の設定を外部 EDID 以外の接続するシンク機器に対応した解像度を設定してください。
 - ・ 本設定は HDMI 信号が入力され、出力モード設定が“DVI 出力”以外に設定されているときに有効です。

【参照 : 8.4.1 出力モード (P. 53)】

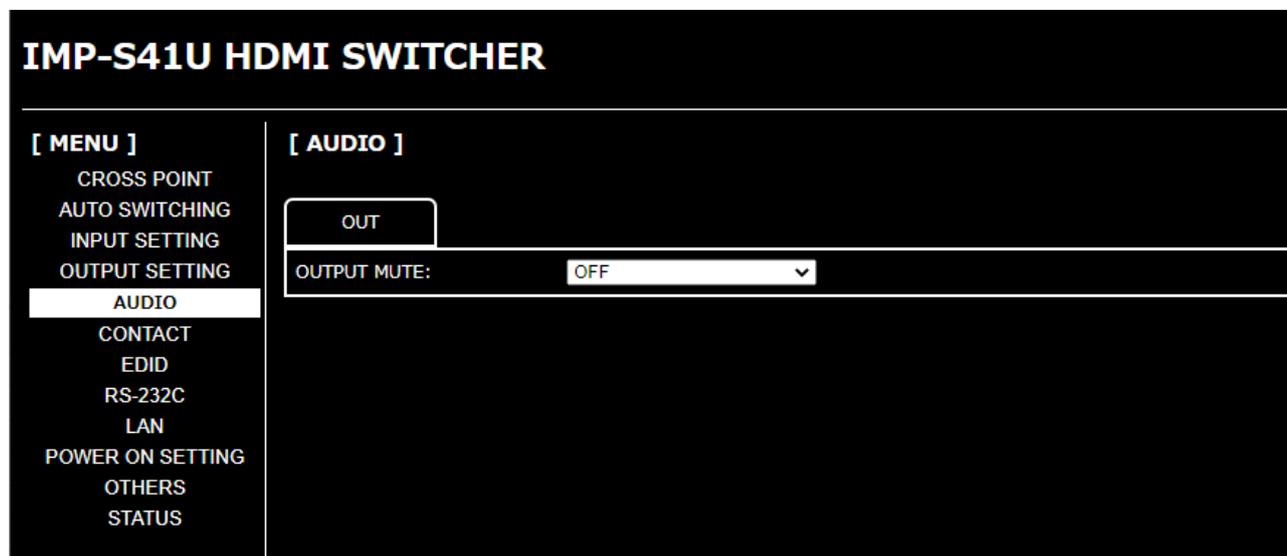
8.4.3 HDCP 再認証

メニュー OUTPUT SETTING → HDCP AUTHORIZATION

本機は HDCP に対応した機器が接続された場合、自動的に HDCP 認証をします。
任意のタイミングで再認証を行いたいときは、手動で HDCP の再認証ができます。

8.5 音声設定

音声設定について説明します。
この設定は、[AUDIO] メニューから行います。



[図 8.13] AUDIO メニュー (図 : IMP-S41U)

[表 8.7] サブメニューと機能名の対応表

サブメニュー名	機能名	参照ページ
OUTPUT MUTE	音声出力ミュート	55

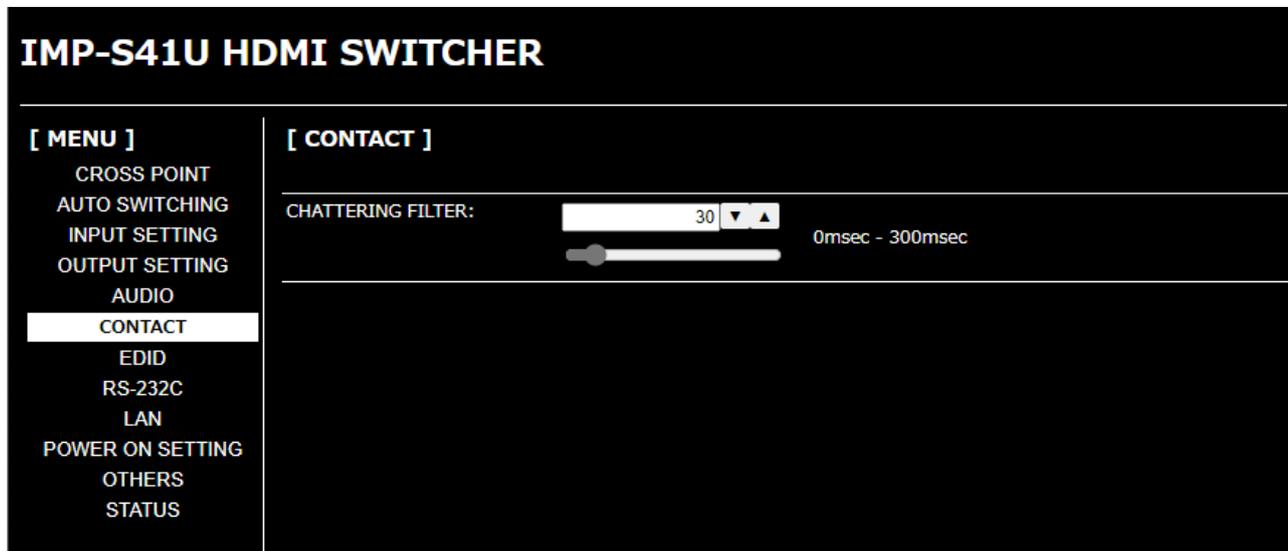
8.5.1 音声出力ミュート

メニュー AUDIO → OUTPUT MUTE
設定値 ON : ミュート ON
OFF : ミュート OFF ※初期値

音声出力ミュートの ON / OFF を設定します。
“ON” に設定すると、デジタル / アナログ音声の出力がともにミュートされます。

8.6 接点入力

接点入力設定について説明します。
この設定は、[CONTACT] メニューから行います。



[図 8.14] CONTACT メニュー (図 : IMP-S41U)

[表 8.8] サブメニューと機能名の対応表

サブメニュー名	機能名	参照ページ
CHATTERING FILTER	接点入力端子のチャタリング除去時間	57

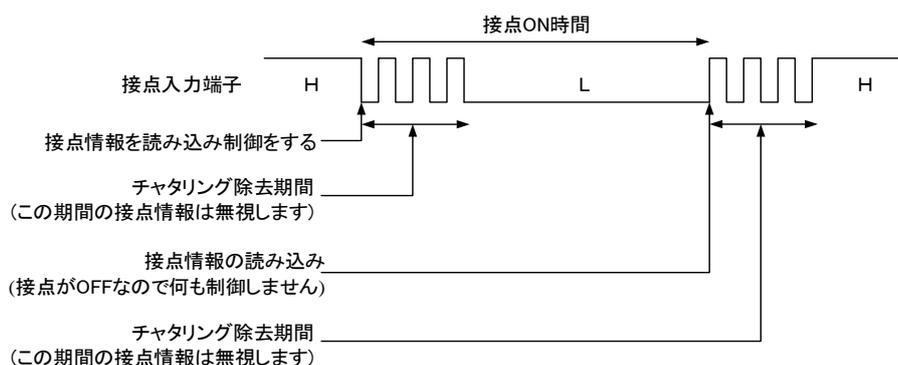
8.6.1 接点入力端子のチャタリング除去時間

メニュー CONTACT → CHATTERING FILTER

設定値 0 ~ 300 : 0 ms ~ 300 ms ※初期値 30 ms

リレーやスイッチの接点が切り換わった直後に発生する、接点入力端子上の信号のチャタリングについて、除去する時間を設定します。

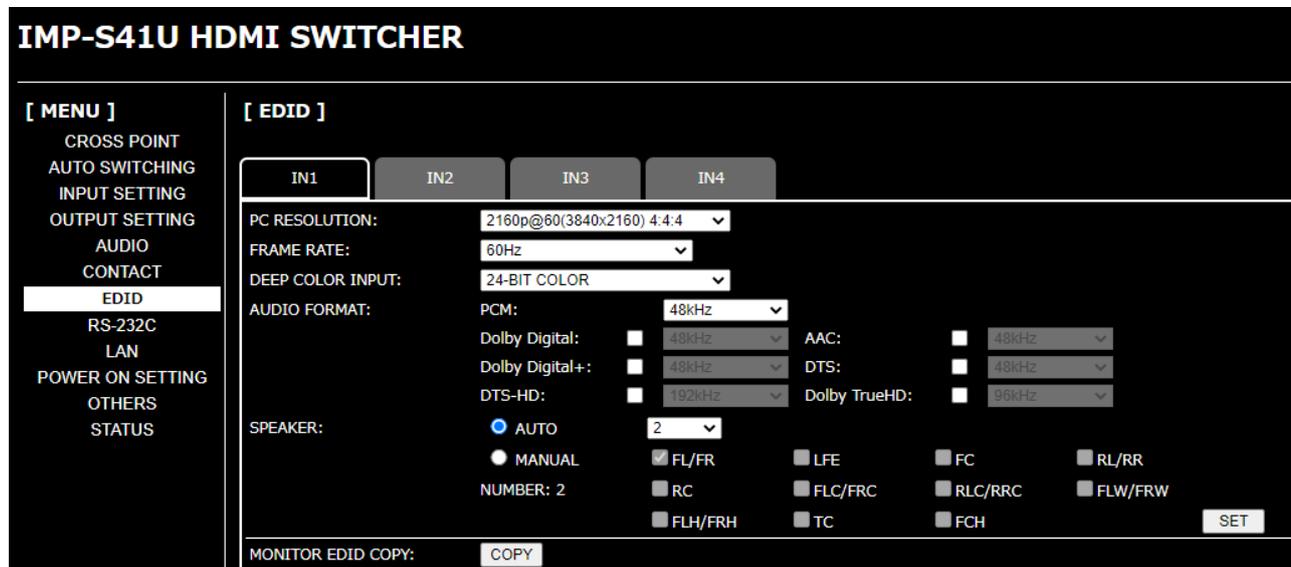
チャタリングにより本機の動作が不安定になる場合は、チャタリングの除去時間を長く設定してください。



[図 8.15] チャタリングの除去

8.7 EDID

EDID 設定について説明します。
この設定は、[EDID] メニューから行います。



[図 8.16] EDID メニュー (図 : IMP-S41U)

[表 8.9] サブメニューと機能名の対応表

サブメニュー名	機能名	参照ページ
PC RESOLUTION	EDID の解像度	59
FRAME RATE	フレームレート	63
DEEP COLOR INPUT	Deep Color 入力	63
AUDIO FORMAT	音声フォーマット	64
SPEAKER	スピーカー構成	65
MONITOR EDID COPY	EDID データのコピー	65

8.7.1 EDID の解像度

メニュー EDID → PC RESOLUTION

設定値 下表参照

ソース機器に送信する EDID を設定します。

本メニューでは、ブルーレイディスクプレーヤーなどの AV 機器を HDMI で接続したときに、出力解像度を制限する場合にも有効に機能します。

設定値“SVGA(800x600)”～“4096x2160@60 4:4:4”は本機が内蔵している EDID です。この内蔵 EDID を使用する場合は、使用するシンク機器に対応した最大解像度を設定してください。

720p / 1080i / 1080p / 2160p / 4096×2160 は CEA-861 規格のタイミングです。その他は、VESA DMT 規格または VESA CVT 規格に準拠したタイミングです。

なお、HDR 対応のシンク機器を接続した状態で外部 EDID の設定を選択、または HDR 対応のシンク機器のコピー EDID の設定を選択したとき、HDR 対応になります。また、3D 対応のシンク機器を接続した状態で外部 EDID の設定を選択、または 3D 対応のシンク機器のコピー EDID の設定を選択したとき、3D 対応になります。

[表 8.10] EDID の最大解像度一覧

設定値	上段：規格名 下段：画素数	規格	備考
EXTERNAL	EXTERNAL (外部 EDID) —	—	シンク機器が接続されていない場合は、EXTERNAL を選択する直前に使用していた EDID が読み出されます。
COPY EDID	コピー EDID —	—	取得データがない場合は、コピー EDID を選択する直前に使用していた EDID が読み出されます。
SVGA(800x600)	SVGA 800 × 600	VESA	—
XGA(1024x768)	XGA 1024 × 768		—
VESA720(1280x720)	VESA720 1280 × 720		DVI 機器入力用
720p(1280x720)	720p 1280 × 720	HDTV	—
WXGA(1280x768)	WXGA 1280 × 768	VESA	—
WXGA(1280x800)	WXGA 1280 × 800		—
QuadVGA(1280x960)	QuadVGA 1280 × 960		—
SXGA(1280x1024)	SXGA 1280 × 1024		—
WXGA(1360x768)	WXGA 1360 × 768		—

[表 8.11] EDID の最大解像度一覧 (つづき)

設定値	上段：規格名 下段：画素数	規格	備考
WXGA(1366x768)	WXGA 1366 × 768	VESA	—
SXGA+(1400x1050)	SXGA+ 1400 × 1050		—
WXGA+(1440x900)	WXGA+ 1440 × 900		—
WXGA++(1600x900)	WXGA++ 1600 × 900		(RB)
UXGA(1600x1200)	UXGA 1600 × 1200		—
WSXGA+(1680x1050)	WSXGA+ 1680 × 1050		—
1080i(1920x1080)	1080i 1920 × 1080	HDTV	—
1080p@30(1920x1080)	1080p (24 / 25 / 30) 1920 × 1080		—
VESA1080(1920x1080)	VESA1080 1920 × 1080	VESA	(RB)、DVI 機器入力用
1080p@60(1920x1080)	1080p (50 / 59.94 / 60) 1920 × 1080	HDTV	—
WUXGA(1920x1200)	WUXGA 1920 × 1200	VESA	(RB)
QWXGA(2048x1152)	QWXGA 2048 × 1152		(RB)
WQHD(2560x1440)	WQHD 2560 × 1440		(RB)
WQXGA(2560x1600)	WQXGA 2560 × 1600		(RB)
2160p@30(3840x2160)	2160p (24 / 25 / 30) 3840 × 2160	UHDTV	—
4096x2160@30	4096x2160 (24 / 25 / 30) 4096 × 2160	DCI	—
2160p@60(3840x2160) 4:2:0	2160p (50 / 59.94 / 60、4:2:0) 3840 × 2160	UHDTV	YCbCr 4:2:0 対応
4096x2160@60 4:2:0	4096x2160 (50 / 59.94 / 60、4:2:0) 4096 × 2160	DCI	YCbCr 4:2:0 対応
2160p@60(3840x2160) 4:4:4	2160p (50 / 59.94 / 60、4:4:4) 3840 × 2160	UHDTV	YCbCr 4:2:0、YCbCr 4:2:2、 YCbCr 4:4:4 対応 ※初期値
4096x2160@60 4:4:4	4096x2160 (50 / 59.94 / 60、4:4:4) 4096 × 2160	DCI	YCbCr 4:2:0、YCbCr 4:2:2、 YCbCr 4:4:4 対応

(RB) : Reduced Blanking

【注意】 ・ **4096x2160 の解像度を使用する場合**

EDID の定義により、ソース機器が最初に選択する解像度は、3840x2160 (30p、YCbCr 4:4:4) になる場合があります。そのため、4096x2160 の解像度を使用するときは、内蔵 EDID の設定後、ソース機器の設定で 4096x2160 の解像度を選択してください。

・ **YCbCr4:2:0 の色深度を使用する場合**

EDID の定義により、ソース機器が最初に選択する解像度は、3840x2160 (30p、YCbCr 4:4:4) になる場合があります。そのため、YCbCr 4:2:0 の色深度を使用するときは、内蔵 EDID の設定後、ソース機器の設定で YCbCr 4:2:0 の色深度を選択してください。

・ **4K に対応していないソース機器を接続する場合**

内蔵 EDID の初期値は、4K UHDTV (最大解像度 “2160p@60(3840x2160) 4:4:4”) です。そのため、4K に対応していないソース機器を接続した場合、映像が出力されないことがあります。またソース機器が DVI 信号で出力し、音声出力されないこともあります。このソース機器から HDMI 信号を出力させるには、EDID の設定を適切な解像度に変更してください。

[表 8.12] 設定値と EDID 対応画素数

設定値	EDID 対応画素数																												
	640 x 480	800 x 600	1024 x 768	VESA720	720p	1280 x 768	1280 x 800	1280 x 960	1280 x 1024	1360 x 768	1366 x 768	1400 x 1050	1440 x 900	1600 x 900	1600 x 1200	1680 x 1050	1080i	1080p (24 / 25 / 30)	VESA1080	1080p (50 / 59.94 / 60)	1920 x 1200	2048 x 1152	2560 x 1440	2560 x 1600	3840 x 2160 (30p)	4096 x 2160 (30p)	3840 x 2160 (60p)	4096 x 2160 (60p)	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
800x600	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1024x768	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
VESA720	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
720p	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1280x768	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1280x800	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1280x960	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1280x1024	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1360x768	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1366x768	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1400x1050	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1440x900	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1600x900	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1600x1200	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1680x1050	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1080i	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1080p (24 / 25 / 30)	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
VESA1080	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1080p (50 / 59.94 / 60)	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1920x1200	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
2048x1152	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
2560x1440	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
2560x1600	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×
2160p (24 / 25 / 30)	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×
4096x2160 (24 / 25 / 30)	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×
2160p (50 / 59.94 / 60、4:2:0)	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	△	×
4096x2160 (50 / 59.94 / 60、4:2:0)	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	△	△
2160p (50 / 59.94 / 60、4:4:4)	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×
4096x2160 (50 / 59.94 / 60、4:4:4)	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【記号】○：対応、△：YCbCr 4:2:0のみ対応、×：未対応、－：未使用

8.7.2 フレームレート

メニュー	EDID → FRAME RATE
設定値	60Hz ※初期値 50Hz

ソース機器から出力される映像信号の垂直同期周波数を設定します。
本設定は、**8.7.1 EDID の解像度 (P.59)** で“EXTERNAL (外部 EDID)”と“コピーEDID”以外の解像度を選択している場合に有効となります。

8.7.3 Deep Color 入力

メニュー	EDID → DEEP COLOR INPUT
設定値	24-BIT COLOR : 24 bit / pixel (8 bit / component) ※初期値 30-BIT COLOR : 30 bit / pixel (10 bit / component) 36-BIT COLOR : 36 bit / pixel (12 bit / component)

ソース機器から出力される映像信号の Deep Color (色深度) を設定します。
本設定は、**8.7.1 EDID の解像度 (P.59)** で“EXTERNAL (外部 EDID)”と“コピーEDID”以外の解像度を選択している場合に有効となります。

【注意】 30 bit / pixel (10 bit / component) または 36 bit / pixel (12 bit / component) に設定した場合、伝送クロックが高速になるため、品質の悪いケーブルや長いケーブルを接続したときに、映像にノイズが入ることがあります。この場合は、24 bit / pixel (8 bit / component) に設定してください。
なお、入力信号が4Kフォーマットで垂直同期周波数が 50 / 59.94 / 60 Hz (YCbCr 4:4:4) のときは、本設定に関係なく 24 bit / pixel (8 bit / component) になります。

8.7.4 音声フォーマット

メニュー EDID → AUDIO FORMAT
設定値 下表参照

ソース機器に出力許可する音声フォーマットと最大サンプリング周波数を設定します。
本設定は、**8.7.1 EDID の解像度 (P.59)** で“EXTERNAL (外部 EDID)”と“コピーEDID”以外の解像度を選択している場合に有効となります。

[表 8.13] 音声フォーマット一覧

音声フォーマット	最大サンプリング周波数 (kHz)
PCM	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 (48)
Dolby Digital	OFF / 32 / 44.1 / 48 (OFF)
AAC	OFF / 32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 (OFF)
Dolby Digital+	OFF / 32 / 44.1 / 48 (OFF)
DTS	OFF / 32 / 44.1 / 48 / 96 (OFF)
DTS-HD	OFF / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 (OFF)
Dolby TrueHD	OFF / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 (OFF)

※初期値 () 内の設定

- 【注意】
- ・ 液晶モニタなどでは、対応していない音声フォーマットがあります。
お使いの機器が対応している音声フォーマットと、サンプリング周波数を選択してください。
 - ・ 圧縮音声 (Dolby Digital、DTS など) が入力された場合、アナログ音声は出力されません。
入力されている音声の種別は、**8.12.1 入力信号状態表示 (P.74)** で確認することができます。

8.7.5 スピーカー構成

メニュー EDID → SPEAKER

設定値 下表参照

ソース機器から出力されるマルチチャンネルの音声に対し、スピーカー構成を設定します。

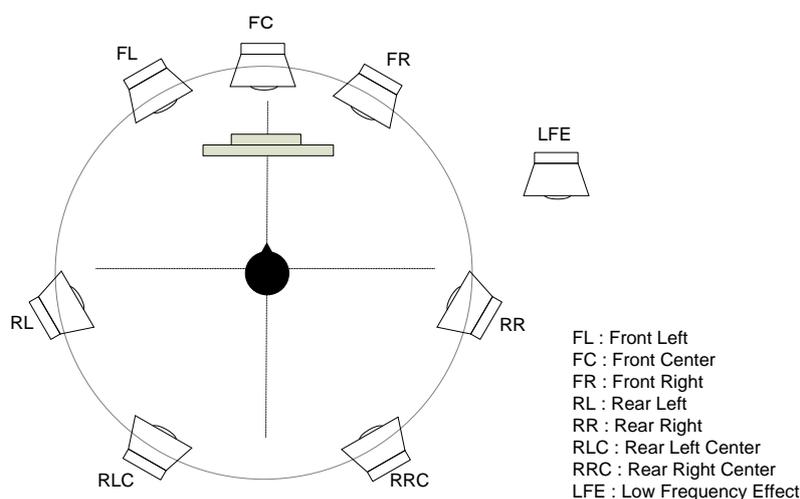
通常はスピーカー数を変更すると [表 8.14] デフォルトスピーカー構成に示すスピーカー構成に設定されます。

スピーカー構成をデフォルトの設定から変更する場合は、使用するスピーカーを個別に設定することも可能です。

本設定は、8.7.1 EDID の解像度 (P.59) で“EXTERNAL (外部 EDID)”と“コピーEDID”以外の解像度を選択している場合に有効となります。

[表 8.14] デフォルトスピーカー構成

スピーカー数	FL/ FR	LFE	FC	RL/ RR	RC	FLC/ FRC	RLC/ RRC	FLW/ FRW	FLH/ FRH	TC	FCH
1	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
2 ※初期値	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
3	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
4	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
5	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
6	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
7	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
8	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF



[図 8.17] スピーカー配置

8.7.6 EDID データのコピー

メニュー EDID → MONITOR EDID COPY

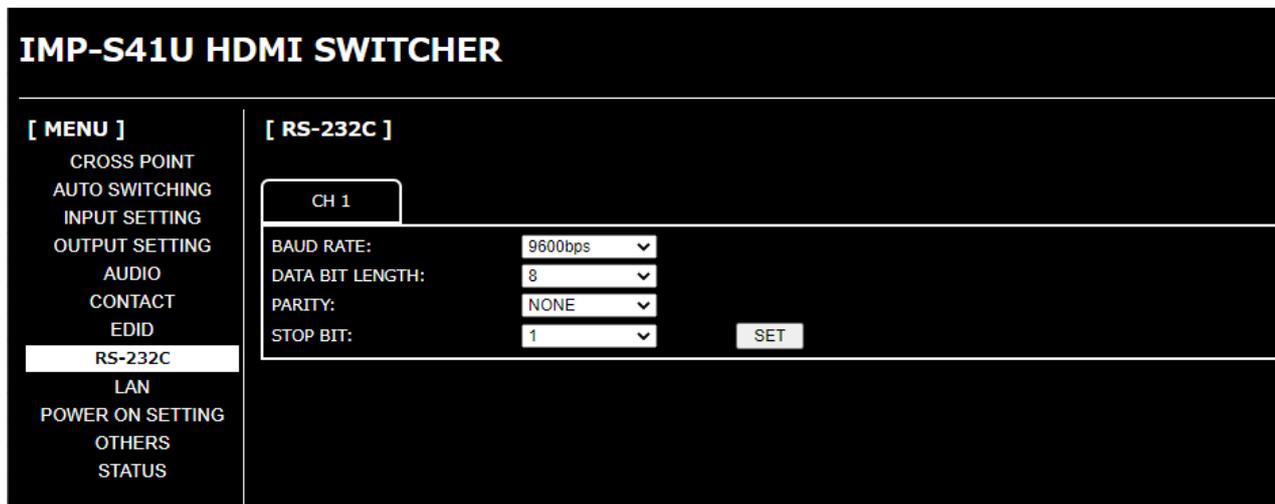
設定値 -

シンク機器のEDIDデータを読み取り、本機に登録します。

このEDIDをコピーEDIDとして本機に登録することで、内蔵EDIDと同じ扱いができます。

8.8 RS-232C 通信設定

RS-232C 通信設定について説明します。
この設定は、[RS-232C] メニューから行います。



[図 8.18] RS-232C メニュー (図 : IMP-S41U)

[表 8.15] サブメニューと機能名の対応表

サブメニュー名	機能名	参照ページ
BAUD RATE	通信速度の設定	66
DATA BIT LENGTH	データビット長の設定	67
PARITY	パリティチェックの設定	67
STOP BIT	ストップビットの設定	67

8.8.1 通信速度の設定

メニュー	RS-232C → BAUD RATE
設定値	4800bps : 4800 bps 9600bps : 9600 bps ※初期値 19200bps : 19200 bps 38400bps : 38400 bps

RS-232C 通信の通信速度を設定します。

8.8.2 データビット長の設定

メニュー	RS-232C → DATA BIT LENGTH
設定値	8 : 8 bit ※初期値 7 : 7 bit

RS-232C 通信のデータビット長を設定します。

8.8.3 パリティチェックの設定

メニュー	RS-232C → PARITY
設定値	NONE : なし ※初期値 EVEN : 偶数 ODD : 奇数

RS-232C 通信のパリティチェックを設定します。

8.8.4 ストップビットの設定

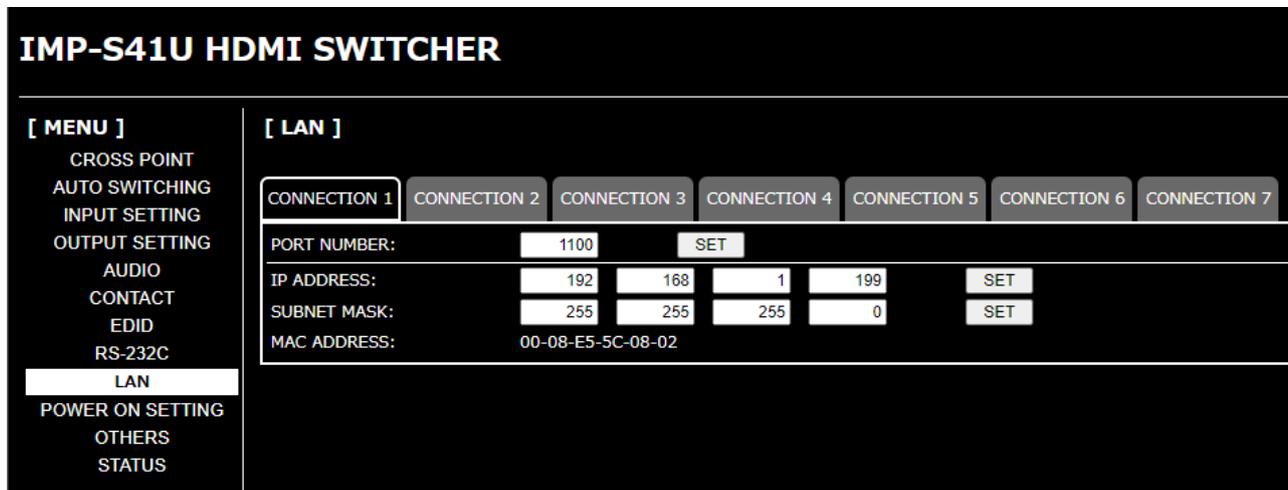
メニュー	RS-232C → STOP BIT
設定値	1 : 1 bit ※初期値 2 : 2 bit

RS-232C 通信のストップビットを設定します。

8.9 LAN 通信設定

LAN 通信設定について説明します。

この設定は、[LAN] メニューから行います。



[図 8.19] LAN メニュー (図 : IMP-S41U)

[表 8.16] サブメニューと機能名の対応表

サブメニュー名	機能名	参照ページ
IP ADDRESS	IP アドレス	68
SUBNET MASK	サブネットマスク	68
MAC ADDRESS	MAC アドレス表示	69
PORT NUMBER	TCP ポート番号	69

8.9.1 IP アドレス

メニュー LAN → IP ADDRESS
設定値 192.168.1.199 ※初期値

IP アドレスを設定します。

8.9.2 サブネットマスク

メニュー LAN → SUBNET MASK
設定値 255.255.255.0 ※初期値

サブネットマスクを設定します。

8.9.3 MAC アドレス表示

メニュー LAN → MAC ADDRESS
設定値 -

MAC アドレスを取得します。

8.9.4 TCP ポート番号

メニュー LAN → PORT NUMBER
設定値 下表参照

TCP ポート番号を設定します。

[表 8.17] TCP ポート番号の設定

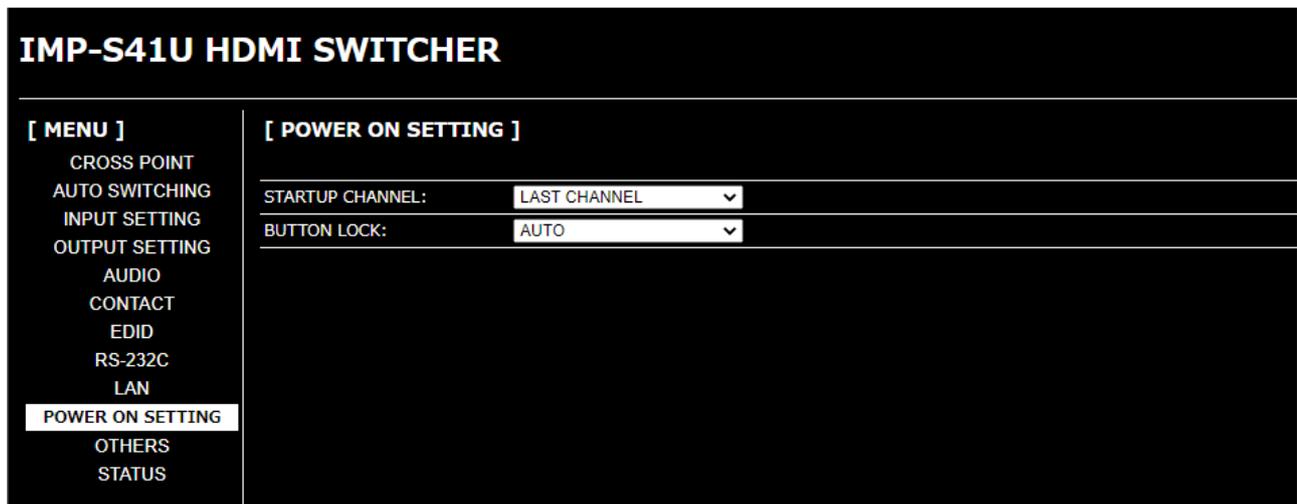
用途	設定値
通信コマンド制御	23、1100、6000 ~ 6999
WEB ブラウザ制御	80、5000 ~ 5999

※初期値 コネクション1 ~ 4 : 1100、コネクション5 ~ 7 : 23、
コネクション8 : 80

【注意】 コネクション8は80番固定です。設定を変更することはできません。

8.10 電源投入時の状態設定

電源投入時の状態設定について説明します。
この設定は、[POWER ON SETTING] メニューから行います。



[図 8.20] POWER ON SETTING メニュー (図 : IMP-S41U)

[表 8.18] サブメニューと機能名の対応表

サブメニュー名	機能名	参照ページ
STARTUP CHANNEL	電源投入時の入力チャンネル	71
BUTTON LOCK	電源投入時のボタンロック	71

8.10.1 電源投入時の入力チャンネル

メニュー POWER ON SETTING → STARTUP CHANNEL
 設定値 IN1 ~ IN4 : 入力チャンネル 1 ~ 4
 OFF : 入力チャンネル OFF
 LAST CHANNEL : ラストチャンネル ※初期値

電源投入時の入力チャンネルの選択状態を設定します。
 設定値と、電源投入時における本機の動作は、次のとおりです。

[表 8.19] 電源投入時における本機の動作

設定値	電源投入時における本機の動作
IN1 ~ IN4	設定した入力チャンネルで起動します。
OFF	入力チャンネル OFF で起動します。
LAST CHANNEL	最後に電源を切ったときの入力チャンネルで起動します。

8.10.2 電源投入時のボタンロック

メニュー POWER ON SETTING → BUTTON LOCK
 設定値 AUTO : 電源を切る前のボタンロックの状態 ※初期値
 UNLOCK : ボタンロック解除
 LOCK : ボタンロック設定

電源投入時における、入力チャンネル選択ボタンのボタンロックの設定をします。
 設定値と、電源を切る前のボタンロックの状態により、電源を入れたときのロック状態は変わります。

[表 8.20] 電源投入時のボタンロックの状態

条件		結果
設定値	電源を切る前の ボタンロックの状態	電源を入れた後の ボタンロックの状態
AUTO	UNLOCK	UNLOCK
	LOCK	LOCK
UNLOCK	UNLOCK	UNLOCK
	LOCK	UNLOCK
LOCK	UNLOCK	LOCK
	LOCK	LOCK

8.11 その他設定

その他設定について説明します。

この設定は、[OTHERS] メニューから行います。

この節では、ブザー音とバージョン情報の表示について説明します。その他の設定については、7.2 WEB メニュー画面からの操作 (P.26) をご参照ください。



[図 8.21] その他メニュー (図 : IMP-S41U)

[表 8.21] サブメニューと機能名の対応表

サブメニュー名	機能名	参照ページ
BUZZER	ブザー音	72
AUTO RELOAD TIME	WEB メニュー画面の自動更新時間の設定	32
BACKUP/RESTORE	設定の保存 / 復元	33
INITIALIZE	工場出荷時の設定に戻す	34
VERSION	バージョン情報の表示	72

8.11.1 ブザー音

メニュー — OTHERS → BUZZER

設定値 ON : ブザー音あり ※初期値

OFF : ブザー音なし

入力チャンネル選択ボタンを押したときの、確認音の ON / OFF を設定します。

8.11.2 バージョン情報の表示

メニュー — OTHERS → VERSION

設定値 —

ファームウェアのバージョン情報を表示します。

8.12 ステータス表示

ステータス表示について説明します。
この設定は、[STATUS] メニューから行います。

ステータス表示は、WEB メニューの画面で表示される内容と、通信コマンドを使ったときに表示される内容は異なります。この節では、WEB メニューの画面で表示されるステータス表示について説明します。
通信コマンドのステータス表示は、「IMP-S シリーズ取扱説明書 <コマンドガイド>」をご参照ください。

IMP-S41U HDMI SWITCHER	
[MENU] CROSS POINT AUTO SWITCHING INPUT SETTING OUTPUT SETTING AUDIO CONTACT EDID RS-232C LAN POWER ON SETTING OTHERS STATUS	[STATUS] <hr/> INPUT STATUS VIDEO STATUS : IN1 FORMAT : 3840x2160p 60.00Hz INPUT MODE : HDMI MODE HDCP : HDCP 2.2 Type0 COLOR SPACE : YCbCr 4:4:4 DEEP COLOR : 24-BIT COLOR <hr/> AUDIO STATUS FORMAT : LINEAR PCM SAMPLING FREQUENCY : 48kHz CHANNEL : 2 CHANNEL SPEAKER : FL FR - - : - - - BIT LENGTH : 24 BITS <hr/> MONITOR STATUS HDCP AUTHENTICATION : HDCP SUPPORT OUTPUT MODE : HDMI MODE DEEP COLOR : 24-BIT COLOR <hr/> ERROR STATUS VIDEO ERROR : DIGITAL AUDIO ERROR : ANALOG AUDIO ERROR : <hr/> EDID STATUS MONITOR NAME : IMP-400UHD RESOLUTION : 3840x2160 594.00MHz HDMI/DVI : HDMI MODE COLOR SPACE : RGB/YCbCr422/444/420 DEEP COLOR : 24BIT COLOR PCM FREQUENCY : 32/44.1/48kHz PCM BIT LENGTH : 16/20/24BIT PCM CHANNEL : 2 CHANNEL COMPRESSED AUDIO : Not Supported HDR : SCDC : ON

[図 8.22] ステータス表示メニュー (図 : IMP-S41U)

[表 8.22] サブメニューと機能名の対応表

サブメニュー名	機能名	参照ページ
INPUT STATUS	入力信号状態表示	74
MONITOR STATUS	シンク機器状態表示	77
ERROR STATUS	エラーメッセージ表示	78
EDID STATUS	シンク機器の EDID 情報表示	80

8.12.1 入力信号状態表示

次の図は、IN1 の入力信号状態を表示した WEB メニューの画面です。
この項では、入力信号のステータス表示について説明します。

INPUT STATUS	VIDEO STATUS	: IN1	IN2
	FORMAT	: 3840x2160p 60.00Hz	UNSELECTED
	INPUT MODE	: HDMI MODE	
	HDCP	: HDCP 2.2 Type0	
	COLOR SPACE	: YCbCr 4:4:4	
	DEEP COLOR	: 24-BIT COLOR	
	AUDIO STATUS	: IN1	IN2
	FORMAT	: LINEAR PCM	UNSELECTED
	SAMPLING FREQUENCY	: 48kHz	
	CHANNEL	: 2 CHANNEL	
	SPEAKER	: FL FR - -	
		: - - - -	
	BIT LENGTH	: 24 BITS	

[図 8.23] 入力信号状態表示 (図 : IN1 と IN2 のみ抜粋したもの)

メ ニ ュ ー STATUS → INPUT STATUS
取 得 値 下表参照

HDMI 入力コネクタから入力される信号の状態を表示します。

[表 8.23] 映像入力信号のフォーマット

表示項目	表示内容	状態
FORMAT	3840x2160p 59.94Hz	SDTV / HDTV / UHDTV 信号が入力されており、フォーマットの種別と垂直同期周波数を表示します。
	800x600p 60.32Hz	VESA 系解像度の信号が入力されており、水平解像度×垂直解像度と垂直同期周波数を表示します。
	NO SIGNAL	映像信号が入力されていません。
	UNSELECTED	入力チャンネルが選択されていません。

「FORMAT」の項目が“UNSELECTED”を表示したときは、以降の表の内容は表示されません。

[表 8.24] 入力信号の種類

表示項目	表示内容	状態
INPUT MODE	HDMI MODE	HDMI 信号が入力されています。
	DVI MODE	DVI 信号が入力されています。

[表 8.25] HDCP 入力の有無

表示項目	表示内容	状態
HDCP	HDCP 2.2 Type0	HDCP 2.2 ストリームタイプ 0 の映像信号が入力されています。
	HDCP 2.2 Type1	HDCP 2.2 ストリームタイプ 1 の映像信号が入力されています。
	HDCP 1.4	HDCP 1.4 の信号が入力されています。
	NOT ENCRYPTED	HDCP で保護されていない信号が入力されています。

[表 8.26] 映像入力信号のカラースペース

表示項目	表示内容	状態
COLOR SPACE	RGB	RGB の映像信号が入力されています。
	YCbCr 4:2:2	YCbCr 4:2:2 の映像信号が入力されています。
	YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:4:4 の映像信号が入力されています。
	YCbCr 4:2:0	YCbCr 4:2:0 の映像信号が入力されています。

[表 8.27] 映像入力信号の色深度

表示項目	表示内容	状態
DEEP COLOR	24-BIT COLOR	24 bit / pixel (8 bit / component) の映像信号が入力されています。
	30-BIT COLOR	30 bit / pixel (10 bit / component) の映像信号が入力されています。
	36-BIT COLOR	36 bit / pixel (12 bit / component) の映像信号が入力されています。

[表 8.28] 音声入力信号のフォーマット

表示項目	表示内容	状態
FORMAT	LINEAR PCM	リニア PCM 信号が入力されています。
	COMPRESSED AUDIO	圧縮音声信号 (Dolby Digital、DTS など) が入力されています。 (IMP-S シリーズでは詳細なフォーマットを判別しないため、圧縮音声が入力されている場合はすべて同じ表示になります。)
	NO SIGNAL	音声信号が入力されていません。

[表 8.29] 音声入力信号のサンプリング周波数

表示項目	表示内容	状態
SAMPLING FREQUENCY	48kHz	サンプリング周波数 (32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192kHz) を表示します。

[表 8.30] 音声入力信号のチャンネル数

表示項目	表示内容	状態
CHANNEL	2 CHANNEL	2チャンネルの音声信号が入力されています。
	MULTI CHANNEL	マルチチャンネルの音声信号が入力されていません。

[表 8.31] 音声入力信号のスピーカー構成

表示項目	表示内容	状態
SPEAKER	FL FR	スピーカー構成 (FL / FR / LFE / FC / RL / RR / RC / FLC / FRC / RLC / RRC / FLW / FRW / FLH / FRH / TC / FCH) を表示します。

[表 8.32] 音声入力信号のビット長

表示項目	表示内容	状態
BIT LENGTH	24 BITS	ビット長 (16 / 20 / 24 BITS) を表示します。

8.12.2 シンク機器状態表示

次の図は、HDMI 出力コネクタに接続されるシンク機器の状態を表示した WEB メニューの画面です。この項では、シンク機器のステータス表示について説明します。

MONITOR STATUS	: OUT
HDCP AUTHENTICATION	: HDCP SUPPORT
OUTPUT MODE	: HDMI MODE
DEEP COLOR	: 24-BIT COLOR

[図 8.24] シンク機器状態表示

メニュー STATUS → MONITOR STATUS

取得値 下表参照

HDMI 出力コネクタに接続されるシンク機器の状態を表示します。

[表 8.33] HDCP の認証状態

表示項目	表示内容	状態
HDCP AUTHENTICATION	HDCP SUPPORT	HDCP に対応したシンク機器と認証されています。
	HDCP NOT SUPPORT	HDCP に対応していないシンク機器が接続されているか、入力信号に HDCP が付加されていないため認証していません。
	HDCP ERROR	HDCP に対応したシンク機器が接続されていますが、認証に失敗しました。
	HDCP CHECK NOW	シンク機器の接続状態が変わった場合などに表示され、シンク機器の状態を確認中です。
	UNCONNECTED	シンク機器が接続されていません。

[表 8.34] 出力信号の種類

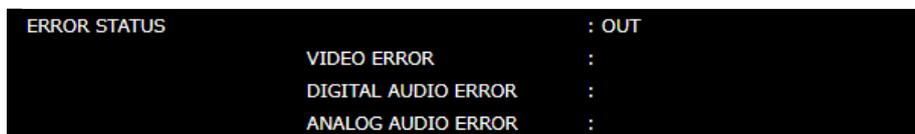
表示項目	表示内容	状態
OUTPUT MODE	HDMI MODE	HDMI 信号が出力されています。
	DVI MODE	DVI 信号が出力されています。

[表 8.35] 映像出力信号の色深度

表示項目	表示内容	状態
DEEP COLOR	24-BIT COLOR	24 bit / pixel (8 bit / component) の映像信号が出力されています。
	30-BIT COLOR	30 bit / pixel (10 bit / component) の映像信号が出力されています。
	36-BIT COLOR	36 bit / pixel (12 bit / component) の映像信号が出力されています。

8.12.3 エラーメッセージ表示

次の図は、映像と音声の状態を表示した WEB メニューの画面です。
この項では、映像と音声のステータス表示について説明します。



[図 8.25] エラーメッセージ表示

メニュー STATUS → ERROR STATUS
取得値 下表参照

映像と音声のエラーメッセージを表示します。
映像と音声が必要な場合は、エラーメッセージは表示されません。

[表 8.36] 映像出力のエラーメッセージ

表示項目	表示内容	状態
VIDEO ERROR	Not DDC Power	DDC 電源が入力されていません。(ソース機器が接続されていない場合は、この状態になります。)
	No Signal	映像信号が入力されていません。
	AV Mute Received	ソース機器の映像出力がミュート状態です。
	HDCP Video Mute	HDCP の付加された映像信号が入力されていますが、シンク機器が HDCP に対応していません。
	Not AVInfoFrame	映像の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません。
	Dot Clock Over	本機が対応していない信号が入力されています。
	Channel OFF	入力チャンネルが“OFF”に設定されています。

[表 8.37] デジタル音声出力のエラーメッセージ

表示項目	表示内容	状態
DIGITAL AUDIO ERROR	Audio Mute	8.5.1 音声出力ミュート (P.55) が“ミュート ON”に設定されています。
	Not DDC Power	DDC 電源が入力されていません。(ソース機器が接続されていない場合は、この状態になります。)
	No Signal	音声信号が入力されていません。
	AV Mute Received	ソース機器の音声出力がミュート状態です。
	HDCP Audio Mute	HDCP の付加された信号が入力されていますが、シンク機器が HDCP に対応していません。
	Not AUDInfoFrame	音声の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません。
	Compressed Audio	圧縮音声が入力されているため音声を出力することができません。(圧縮音声に対応したシンク機器以外には、圧縮音声は出力されません。)
	DVI Mode	ソース機器から DVI 信号が入力されているか、または 8.4.1 出力モード (P.53) が DVI 出力に設定されている、もしくはデジタル音声に対応していないシンク機器が接続されています。
Channel OFF	入力チャンネルが“OFF”に設定されています。	

[表 8.38] アナログ音声出力のエラーメッセージ

表示項目	表示内容	状態
ANALOG AUDIO ERROR	Audio Mute	8.5.1 音声出力ミュート (P.55) が“ミュート ON”に設定されています。
	Not DDC Power	DDC 電源が入力されていません。(ソース機器が接続されていない場合は、この状態になります。)
	No Signal	音声信号が入力されていません。
	AV Mute Received	ソース機器の音声出力がミュート状態です。
	Not AUDInfoFrame	音声の出力に必要な情報 (パケット) をソース機器が出力していません。
	Compressed Audio	圧縮音声が入力されているため音声を出力することができません。(圧縮音声が入力された場合、アナログ音声は出力されません。)
	DVI Mode	ソース機器から DVI 信号が入力されています。
	Channel OFF	入力チャンネルが“OFF”に設定されています。

8.12.4 シンク機器の EDID 情報表示

次の図は、HDMI 出力コネクタに接続されるシンク機器の EDID 情報を表示した WEB メニュー画面です。この項では、EDID のデータ表示について説明します。

EDID STATUS	: OUT
MONITOR NAME	: IMP-400UHD
RESOLUTION	: 3840x2160 594.00MHz
HDMI/DVI	: HDMI MODE
COLOR SPACE	: RGB/YCbCr422/444/420
DEEP COLOR	: 24BIT COLOR
PCM FREQUENCY	: 32/44.1/48kHz
PCM BIT LENGTH	: 16/20/24BIT
PCM CHANNEL	: 2 CHANNEL
COMPRESSED AUDIO	: Not Supported
HDR	:
SCDC	: ON

[図 8.26] シンク機器の EDID 情報表示

メニュー STATUS → EDID STATUS
取得値 下表参照

HDMI 出力コネクタに接続されるシンク機器の EDID 情報を表示します。

[表 8.39] モニタ EDID 情報

表示項目	表示内容	表示例	備考
MONITOR NAME	—	IMP-S41U	モニタが未接続の場合、“UNCONNECTED”と表示し、以降の EDID 情報を表示しません。
RESOLUTION	—	1920x1080 148.50MHz	—
HDMI/DVI	HDMI MODE / DVI MODE	HDMI MODE	HDMI 非対応のシンク機器が接続されている場合、“DVI MODE”と表示します。
COLOR SPACE ^{※1}	RGB / YCbCr422 / YCbCr444 / YCbCr420	RGB/YCbCr422/444	対応するサンプリング構造をすべて表示します。 シンク機器の解像度が 4K@50 / 59.94 / 60 で、YCbCr 4:2:0 までしか対応していない場合は、“YCbCr420”と表示します。
DEEP COLOR ^{※1}	24 / 30 / 36 BIT COLOR	24BIT COLOR	対応する色深度をすべて表示します。
PCM FREQUENCY ^{※2}	32 / 44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz	32/44.1/48kHz	対応するサンプリング周波数をすべて表示します。
PCM BIT LENGTH ^{※2}	16 / 20 / 24 BIT	16/20/24BIT	対応するビット長をすべて表示します。

[表 8.40] モニタ EDID 情報 (つづき)

表示項目	表示内容	表示例	備考
PCM CHANNEL ※2	1 CHANNEL ~ 8 CHANNEL	2 CHANNEL	—
COMPRESSD AUDIO ※2	Supported / Not Supported	Supported	圧縮音声に対応している場合は、“Supported” と表示します。
HDR ※3	ON	ON	HDR に対応している場合、“ON” と表示します。
SCDC ※3	ON	ON	SCDC に対応している場合、“ON” と表示します。

※1 HDMI に対応したシンク機器が接続されている場合のみ表示されます。

※2 音声に対応したシンク機器が接続されている場合のみ表示されます。

※3 HDR または SCDC に対応したシンク機器が接続されている場合のみ表示されます。

9 製品仕様

		IMP-S21U	IMP-S41U
映像音声入力	HDMI	2 系統 HDMI/DVI 1.0 TMDS シングルリンク、HDCP 1.4/2.2 TMDS クロック: 最大 300 MHz、TMDS データレート: 最大 18 Gbps Deep color/x.v.Color/3D/HDR/HEC ¹ 640x480@60 ~ 2560x1600@60 Reduced Blanking 480i、576i ~ 3840x2160@24/25/30/50/59.94/60 (4:4:4)、3840x2160@50/59.94/60 (4:2:0)、 4096x2160@24/25/30/50/59.94/60 (4:4:4)、4096x2160@50/59.94/60 (4:2:0) 色深度: 24/30/36 bits ※詳細は対応映像信号表を参照 リニア PCM: 最大 8 チャンネル サンプリング周波数: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz 基準レベル: -20 dBFS、最大入力レベル: 0 dBFS CEC コネクタ: HDMI Type A (19 ピン) 最大距離: 30 m (1080p@60)、12 m (4K@60) ²	4 系統
	HDMI	1 系統 HDMI/DVI 1.0 TMDS シングルリンク、HDCP 1.4/2.2 TMDS クロック: 最大 300 MHz、TMDS データレート: 最大 18 Gbps Deep color/x.v.Color/3D/HDR/HEC ¹ 640x480@60 ~ 2560x1600@60 Reduced Blanking 480i、576i ~ 3840x2160@24/25/30/50/59.94/60 (4:4:4)、3840x2160@50/59.94/60 (4:2:0)、 4096x2160@24/25/30/50/59.94/60 (4:4:4)、4096x2160@50/59.94/60 (4:2:0) 色深度: 24/30/36 bits ※詳細は対応映像信号表を参照 リニア PCM: 最大 8 チャンネル サンプリング周波数: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz 基準レベル: -20 dBFS、最大出力レベル: 0 dBFS CEC コネクタ: HDMI Type A (19 ピン) 最大距離: 30 m (1080p@60)、12 m (4K@60) ²	
映像音声出力	HDMI	1 系統 HDMI/DVI 1.0 TMDS シングルリンク、HDCP 1.4/2.2 TMDS クロック: 最大 300 MHz、TMDS データレート: 最大 18 Gbps Deep color/x.v.Color/3D/HDR/HEC ¹ 640x480@60 ~ 2560x1600@60 Reduced Blanking 480i、576i ~ 3840x2160@24/25/30/50/59.94/60 (4:4:4)、3840x2160@50/59.94/60 (4:2:0)、 4096x2160@24/25/30/50/59.94/60 (4:4:4)、4096x2160@50/59.94/60 (4:2:0) 色深度: 24/30/36 bits ※詳細は対応映像信号表を参照 リニア PCM: 最大 8 チャンネル サンプリング周波数: 32/44.1/48/88.2/96/176.4/192 kHz 基準レベル: -20 dBFS、最大出力レベル: 0 dBFS CEC コネクタ: HDMI Type A (19 ピン) 最大距離: 30 m (1080p@60)、12 m (4K@60) ²	
	アナログ音声	1 系統 ステレオ L/R 出力インピーダンス: 100 Ω バランス/50 Ω アンバランス 基準レベル: -4 dBu バランス/-10 dBu アンバランス 最大出力レベル: +16 dBu バランス/+10 dBu アンバランス コネクタ: ターミナルブロック (5 ピン)	
制御 I/F	RS-232C	1 系統 コネクタ: ターミナルブロック (3 ピン)	
	LAN	1 系統 10Base-T/100Base-TX (Auto Negotiation)、Auto MDI/MDI-X、コネクタ: RJ-45	
	接点入力/タリール出力	3 系統 接点入力: 無電圧接点 (メイク接点) 入力、または有電圧制御 (DC 0 V ~ 5 V ±5%) タリール出力: オープンコレクタ出力 定格 DC 48 V 1 A コネクタ: ターミナルブロック (3 ピン)	5 系統 タリール用 LED 電源 定格 DC 5 V 0.5 A コネクタ: ターミナルブロック (3 ピン)
機能	音声	音声ディエンベッド	
	制御 その他	WEB ブラウザ、CEC スルー (コネクタ: HDMI) 入力チャンネル自動切替、入力チャンネルシーケンス切替、ラストメモリ、アンチストーム、 コネクショシリセット ³ 、ボタンロック	
その他仕様	電源	DC 5 V 0.9 A	DC 5 V 1.1 A
	最大消費電力	6 W	7 W
	外形寸法	210 (W) × 42 (H) × 140 (D) mm (突起物含まず)	
	質量	1.1 kg	
	温度	使用範囲: 0°C ~ +40°C、保存範囲: -20°C ~ +80°C	
	湿度	20% ~ 90% (ただし結露なきこと)	
付属品	専用 AC アダプタ (1.5 m) × 1、ターミナルブロック (5 ピン) × 1		
	ケーブル固定ブラケット × 3、結束バンド × 3、 ターミナルブロック (3 ピン) × 5		ケーブル固定ブラケット × 5、結束バンド × 5、 ターミナルブロック (3 ピン) × 7

¹ ARC/HEC 非対応

² ケーブルの種類、品質、敷設方法、接続する機器および設置状態により、映像の乱れや映像が出力されないなど、最大距離が満たされないことがあります。
測定条件は以下になります。

- ・ HDMI (1080p@60) : IDK 製ケーブル(AWG 24)を使用し、1080p@60 24 bits の信号を送ったとき
- ・ HDMI (4K@60) : 18 Gbps 高速伝送対応ケーブルを使用し、3840x2160@60 24 bits の信号を送ったとき

³ コネクショシリセットは本機出力のみに対応した機能で、本機出力とシンク機器の間に他の機器が接続されている場合は、機能が有効にならないことがあります。

9.1 主な入出力映像信号仕様

信号 Signal	解像度 Resolution	フレーム レート Frame Rate [Hz]	ドット クロック Pixel Clock [MHz]	色深度 Color Depth [bits]	INPUT	OUTPUT
					HDMI	HDMI
640x480@60	640x480	59.94	25.18	24/30/36	○	○
800x600@60	800x600	60.32	40.00	24/30/36	○	○
1024x768@60	1024x768	60.00	65.00	24/30/36	○	○
1280x768@60	1280x768	59.87	79.50	24/30/36	○	○
1280x800@60	1280x800	59.81	83.50	24/30/36	○	○
1280x960@60	1280x960	60.00	108.00	24/30/36	○	○
1280x1024@60	1280x1024	60.02	108.00	24/30/36	○	○
1360x768@60	1360x768	60.02	85.50	24/30/36	○	○
1366x768@60	1366x768	59.79	85.50	24/30/36	○	○
1400x1050@60	1400x1050	59.98	121.75	24/30/36	○	○
1440x900@60	1440x900	59.89	106.50	24/30/36	○	○
1600x900@60	1600x900	59.95	118.25	24/30/36	○	○
1600x1200@60	1600x1200	60.00	162.00	24/30/36	○	○
1680x1050@60	1680x1050	59.95	146.25	24/30/36	○	○
1920x1080@60 RB	1920x1080	59.93	138.50	24/30/36	○	○
1920x1200@60 RB	1920x1200	59.95	154.00	24/30/36	○	○
2048x1152@60 RB	2048x1152	60.00	162.00	24/30/36	○	○
2560x1440@60 RB	2560x1440	59.95	241.50	24/30/36	○	○
2560x1600@60 RB	2560x1600	59.97	268.50	24/30/36	○	○
480i	720x480	59.94	27.00	24/30/36	○	○
480p	720x480	59.94	27.00	24/30/36	○	○
576i	720x576	50.00	27.00	24/30/36	○	○
576p	720x576	50.00	27.00	24/30/36	○	○
720p@50	1280x720	50.00	74.25	24/30/36	○	○
720p@59.94	1280x720	59.94	74.18	24/30/36	○	○
720p@60	1280x720	60.00	74.25	24/30/36	○	○
1080i@50	1920x1080	25.00	74.25	24/30/36	○	○
1080i@59.94	1920x1080	29.97	74.18	24/30/36	○	○
1080i@60	1920x1080	30.00	74.25	24/30/36	○	○
1080p@50	1920x1080	50.00	148.50	24/30/36	○	○
1080p@59.94	1920x1080	59.94	148.35	24/30/36	○	○
1080p@60	1920x1080	60.00	148.50	24/30/36	○	○
3840x2160@23.98	3840x2160	23.98	296.70	24/30/36	○	○
3840x2160@24	3840x2160	24.00	297.00	24/30/36	○	○
3840x2160@25	3840x2160	25.00	297.00	24/30/36	○	○
3840x2160@29.97	3840x2160	29.97	296.70	24/30/36	○	○
3840x2160@30	3840x2160	30.00	297.00	24/30/36	○	○
3840x2160@50	3840x2160	50.00	594.00	24/30/36*	○	○
3840x2160@59.94	3840x2160	59.94	593.40	24/30/36*	○	○
3840x2160@60	3840x2160	60.00	594.00	24/30/36*	○	○
4096x2160@23.98	4096x2160	23.98	296.70	24/30/36	○	○
4096x2160@24	4096x2160	24.00	297.00	24/30/36	○	○
4096x2160@25	4096x2160	25.00	297.00	24/30/36	○	○
4096x2160@29.97	4096x2160	29.97	296.70	24/30/36	○	○
4096x2160@30	4096x2160	30.00	297.00	24/30/36	○	○
4096x2160@50	4096x2160	50.00	594.00	24/30/36*	○	○
4096x2160@59.94	4096x2160	59.94	593.41	24/30/36*	○	○
4096x2160@60	4096x2160	60.00	594.00	24/30/36*	○	○

RB: Reduced Blanking

*RGB/YCbCr 4:4:4 は 24 bit のみ対応

上記の入力映像信号以外は実機にてご確認ください。

10 正常に動作しないときは

本機が正常に動作しないときは、まず以下の点をご確認ください。

- ・ 本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ・ ケーブルは正しく接続されていますか？
- ・ ケーブルの接触不良はありませんか？
- ・ 機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- ・ 接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- ・ シンク機器は正しく設定されていますか？
- ・ 機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

問題が解決しない場合は、以下の点をご確認ください。

本機に接続されている機器に原因がある場合もありますので、そちらの取扱説明書も参照しながらご確認ください。

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
●映像出力		
映像が出力されない	<p>映像が出力されない場合は、8.12.3 エラーメッセージ表示 (P.78) で表示されているエラーメッセージをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エラーメッセージが “Not DDC Power” の場合 ソース機器が接続され電源が投入されているか再度ご確認ください。 ・ エラーメッセージが “No Signal” の場合 信号が入力されていないので、[1] ~ [5] をご確認ください。 ・ エラーメッセージが “AV Mute Received” の場合 ソース機器側に問題があるか、HDCP 認証で異常が発生している可能性があるため、[2], [4], [5] をご確認ください。 ・ エラーメッセージが “HDCP Video Mute” の場合 シンク機器が HDCP に対応していない場合、著作権保護されていない映像のみ出力され、著作権保護された信号が入力された場合は黒を出力します。また一部のソース機器は、接続するシンク機器の HDCP 対応を判断し、常に HDCP 出力します。本機は HDCP に対応しているため、HDCP に対応していないシンク機器を接続した場合、映像を表示しません。この場合は、8.3.2 HDCP 入力の許可 / 禁止 (P.51) でソース機器からの HDCP 入力を禁止することができます。 ・ エラーメッセージが “Not AVInfoFrame” , “Dot Clock Over” のいずれかの場合 ソース機器側の問題です。 ・ エラーメッセージが “Channel OFF” の場合 7.1.1 入力チャンネルの選択 (P.23) を “OFF” 以外に設定してください。 	—

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
映像が出力されない	[1] 無入力監視時間の設定が短すぎませんか？	50
	[2] 本機の EDID 解像度設定が、シンク機器が対応している入力解像度に設定されていますか？ ・ EDID 解像度設定を 1080i に設定した場合、インターレース信号に対応していないシンク機器には、映像が出力されない場合があります。 ・ パソコン用のモニターはテレビ系の解像度に対応していない場合があります。液晶テレビはパソコン系の解像度 (VGA ~ WQXGA) に対応していない場合があります。	59
	[3] ソース機器の映像出力設定をご確認ください。	—
映像が表示されない、映像が途切れる、または映像にノイズが入る	[4] 入力または出力に長いケーブルを接続している場合は、5 m 以下の短いケーブルと交換してみてください。本機のデジタル入出力には 5 m 以上のケーブルを接続することが可能ですが、ケーブルの品質や接続する機器によっては、十分に性能を発揮できない場合があります。短いケーブルと交換することにより現象が改善される場合は、長距離の伝送で信号が劣化していることが考えられます。弊社では、高品質ケーブルおよびケーブル補償器や延長器などを用意しておりますので、ご相談ください。	—
	[5] 高速な信号 (UXGA, WUXGA, QWXGA, WQHD, WQXGA, 1080p, 4K など解像度の高い信号や、Deep Color 信号など) を入出力したときに、ケーブルの品質や接続する機器によっては、映像が表示されなかったり、映像にノイズが入ることがあります。特定の入力チャンネルを選択した場合のみ現象が出る場合は入力側、またはすべての入力チャンネルで現象が出る場合は出力側に原因があるため、解像度を下げたり Deep Color を “OFF” にして現象が改善されるかご確認ください。 入力されている信号の解像度や色深度は 8.12.1 入力信号状態表示 (P.74) で確認することができ、EDID の設定により入力される信号の解像度や色深度に制限をかけることも可能です。 また、出力している信号の色深度は 8.12.2 シンク機器状態表示 (P.77) で確認することができます。	59、63
映像の上下左右が欠ける	シンク機器によっては入力された映像をオーバースキャンで表示し、映像が欠けてしまうことがあります。シンク機器の表示設定をご確認ください。	—
パソコンからの映像の上下左右に黒が表示される、または出力画面にパソコンからの映像の一部のみが表示され、マウスを動かすと残りの画面がスクロールして表示される	パソコンに設定した解像度 (パソコン画面のプロパティなどで確認が可能です) と、パソコンから出力されている解像度 (8.12.1 入力信号状態表示 (P.74) で確認が可能です) が一致していますか？ 一致していない場合は、EDID とパソコンの解像度を設定してください。 またノートパソコンで内蔵液晶画面のコピーを出力している場合は、外部モニターへの出力が内蔵液晶画面の解像度に制限され、上下左右に黒が表示されることがあります。この場合は、画面の拡張または外部モニターのみへの表示で改善できます。	59

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
映像が縦または横に縮んで見える	シンク機器によっては、入力された映像をフル画面で表示し、アスペクト比が崩れてしまうことがあります。シンク機器の表示設定をご確認ください。また解像度によってはフル画面表示を回避できない場合があるので、ソース機器の出力解像度を変更してみてください。	—
映像がちらつく	インターレース信号に対応していないシンク機器にインターレース信号を入力すると、映像がちらついて見える場合があります。シンク機器の対応解像度をご確認ください。	74
パソコンの「デュアルモニタ」が設定できない、または設定しても解除されてしまう	映像信号の無入力監視機能が働くと、「デュアルモニタ」が正常に動作しない場合があります。この場合は、映像信号の無入力監視機能を“OFF”に設定してください。	50
映像入力チャンネルを切り換えたとき、映像が出力されるまでに時間がかかる	HDCP の付加されていない信号が入力されているチャンネルから、HDCP の付加された信号が入力されているチャンネルに切り換えたとき、HDCP の認証を行うため、映像と音声が出力されるまでに時間がかかる場合があります。	—
●音声出力		
音声が出力されない	<p>音声が出力されない場合は、8.12.3 エラーメッセージ表示 (P. 78) で表示されているエラーメッセージをご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エラーメッセージが“Audio Mute”の場合 8.5.1 音声出力ミュート (P.55) を“OFF”に設定してください。 ・エラーメッセージが“Not DDC Power”の場合 ソース機器が接続され電源が投入されているか再度ご確認ください。 ・エラーメッセージが“No Signal”の場合 信号が入力されていないので、[6], [7], [9] をご確認ください。 ・エラーメッセージが“AV Mute Received”の場合 ソース機器側に問題があるか、HDCP 認証で異常が発生している可能性があるため、[6] をご確認ください。 ・エラーメッセージが“HDCP Audio Mute”の場合 シンク機器または AV アンプが HDCP に対応していない場合、著作権保護されていない音声のみ出力され、著作権保護された信号が入力された場合は音声を出力しません。また一部のソース機器は、接続するシンク機器の HDCP 対応を判断し、常に HDCP 出力します。本機は HDCP に対応しているため、HDCP に対応していないシンク機器または AV アンプを接続した場合、音声を出力しません。この場合は、8.3.2 HDCP 入力の許可 / 禁止 (P.51) でソース機器からの HDCP 入力を禁止することができます。 ・エラーメッセージが“Not AUDInfoFrame”の場合 ソース機器側の問題です。 ・エラーメッセージが“Compressed Audio”の場合 液晶モニタは、圧縮音声 (Dolby Digital、DTS など) を出力できない場合があります。圧縮音声の収録されたブルーレイディスクなどを再生する場合は、ソース機器の音声出力設定をご確認ください。 なお、EDID の設定により、ソース機器から出力する音声信号の制限も可能です。 	64

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
●音声出力 (つづき)		
ソース機器から圧縮音声(Dolby Digital、DTS など) が出力されない	工場出荷時は EDID の設定で圧縮音声の入力を制限しています。圧縮音声を使用する場合は、EDID の設定を変更してください。	64
	マルチチャンネルの圧縮音声を出力する場合は、スピーカー数を設定してください。	65
	ソース機器の音声出力設定をご確認ください。	—
マルチチャンネルの音声出力されない	マルチチャンネルの音声出力する場合は、スピーカー数を設定してください。	65
●ボタン操作		
ボタン操作ができない	ボタン操作がロックされていませんか？	24、30
	電源投入直後は、シンク機器の接続確認が終了するまですべてのボタン操作が無効になります。	22
●通信コマンド制御		
パソコンから本機の通信コマンド制御ができない	RS-232C 通信の場合は通信速度やデータビット長など、LAN 通信の場合は IP アドレスやサブネットマスクなどが正しく設定されていますか？	66 68
	電源投入直後は、シンク機器の接続確認が終了するまで通信コマンド制御が無効になります。	22
●その他		
CEC による機器制御ができない	CEC に対応した HDMI ケーブルを使用していますか？ CEC を使用する場合は、CEC に対応した HDMI ケーブルが必要になります。	—
	CEC を使用する場合は、本機に接続する機器 (液晶テレビやブルーレイディスクレコーダーなど) の「HDMI リンク制御」を有効に設定してください。	

以上の内容を確認しても問題が解決しない場合は、弊社の本社営業部または各営業所までご連絡ください。
なお、故障の連絡をするときは、以下の点も事前にテストしてください。

No.	確認内容	結果
1	すべてのチャンネルで同じ現象がでますか？	はい / いいえ
2	本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？	はい / いいえ

IMP-S シリーズ取扱説明書

<ユーザーズガイド>

Ver.2.2.0

発行日 2022 年 10 月 03 日



株式会社 アイ・ディ・ケイ

本 社 〒242-0021 神奈川県大和市中央 7-9-1
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765

関西営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-5 大同生命江坂第 2 ビル 5 階
TEL (06) 6192-0764 FAX (06) 6192-0906

九州営業所 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 4-9-2 八百治センタービル 3 階
TEL (092) 431-0764 FAX (092) 431-0906

E メールアドレス info@idk.co.jp ホームページ www.idk.co.jp